



家庭教育サポートブック (講座・研修会のヒント集)



【令和 7 年度版】



目 次



p.1 目次

p.2～ 第1章

「子どもの生活習慣に関する指針」について

- 1 趣旨
- 2 指針策定の視点
- 3 みんなで取り組む生活習慣づくり「やまがた子育て5か条」
- 4 「やまがた子育て5か条」の活用について
- 5 指針の策定に至るまでの経過

参考 1～4

(p.12～) 学習資料の内容について

p.17～ 第2章

令和6年度 県事業・市町村事業で実施された家庭教育に関する講座実践事例

- p.20 令和6年度 県家庭教育アドバイザー 一覧
- p.21～ やまがた子育て講座
- p.25～ 幼児共育ふれあい広場
- p.29～ 家庭教育支援フォーラム
- p.37～ 子どもの読書活動推進研修会
- p.42～ 子どもの読書活動推進講座

p.47～ 第3章

令和7年度 県家庭教育アドバイザー 名簿&プロフィール

- p.49 令和7年度 県家庭教育アドバイザー 一覧
- p.50～ 村山地区 13 名
- p.56～ 最上地区 4 名
- p.58～ 置賜地区 5 名
- p.61～ 庄内地区 5 名 計 27 名

p.64 令和6年度 家庭教育支援推進協議会 委員名簿

第1章

「子どもの生活習慣に関する指針」 について

子どもの生活習慣に関する指針

1 趣 旨

本指針は、教育基本法に示されている、「子どもが生活習慣を身につけ、心身の調和のとれた発達を図る」ため、各家庭に生活習慣について見直すことを促すとともに、家庭と学校、地域がそれぞれの果たすべき役割と責任を自覚し、社会全体で子どもたちの生活習慣づくりを見守っていかうとする気運を高めていくことをねらいとしています。

2 指針策定の視点

全国学力・学習状況調査から浮かび上がった本県の子どもの実態を踏まえ、指針策定の視点を以下の3つに整理しました。

(1)指針策定の視点

- ①基本的生活習慣の中で、普遍的なものを身につける。
- ②学習状況調査から、山形の子どもたちが優れているところを伸ばす。
- ③学習状況調査から、課題となる点を改善する。

(2)指針作成の骨子としてとりあげる項目(上記3つの視点との関連)

- ・あいさつを自ら気持ちよくすること…①
- ・早寝、早起きをすること…①・②
- ・朝ごはんを確実に取ること…①・②
- ・学校や家庭のきまり、友だちとの約束を守ること…②
- ・地域等の行事に関心をもつこと…②
- ・家庭で、授業の予習や復習をすること…②
- ・充実した家庭学習をすること…③
- ・長時間のテレビ(DVD・ビデオ含む)視聴をすること…③
- ・長時間、ゲームに興じること…③
- ・日常的にある程度まとまった時間、読書をする…③

山形の子どもたちの生活習慣に関する実態のうち、全国に比して顕著なものを 10 項目取り上げました。「優れている点」は「山形の子どもたちの特長」としてさらに伸ばしていく方向で、「改善を要する点」は、その根拠を示しながら改善に向けての方針を明らかにして「目指す子どもたちの姿」を示すこととしました。

3 みんなで取り組む生活習慣づくり「やまがた子育て5か条」

子どもの生活習慣に関する指針

みんなで取り組む生活習慣づくり

「やまがた子育て5か条」

- 1 身に付けよう 早寝早起き朝ごはん
知力・体力 朝から全開
- 2 こつこつやろう わが家の学び
毎日続けて 知力を耕す
- 3 心をつなごう 親子の対話
よさを引き出す あったかことば
- 4 かしこく付き合う TVやスマホ
しっかり守ろう わが家のルール
- 5 体験しよう 地域の中での豊かな学び
郷土で培う人間力

1 身に付けよう 早寝早起き朝ごはん 知力・体力 朝から全開

- (1) 早寝早起きの規則正しい生活により、体の調子を整えたりするのに必要なホルモンが分泌され、睡眠の質が向上したり、丈夫な体を作ったりすることができます。特に、成長ホルモンが大量に分泌されるのが夜10時頃からと言われており、睡眠時間を確保するためにも、決まった時刻に早く寝ることが大切です。
- (2) 朝ごはんをしっかり取ることで、脳の唯一のエネルギー源であるブドウ糖をチャージします。学習や運動の効果を高めるとともに、落ち着きある生活のもととなります。
- (3) 朝、気持ちよく起きたり、朝ごはんをおいしく食べたりするためには、前日早く寝ることが欠かせません。「早寝」「早起き」「朝ごはん」の習慣を一体的に改善していくことが大切です。

2 こつこつやろう わが家の学び 毎日続けて 知力を耕す

- (1) 家庭での学習習慣(宿題、読書、自主学習等)の定着は、学習内容の定着につながります。日々の積み重ねを習慣化させることは、自ら進んで学習する態度を育てていきます。
- (2) 習慣化させるためには、①いつもの時間に始める、②いつもの場所で始める、③子どもの努力を見逃さず褒める等、親として手助けできるところに十分にかかわってほしいものです。
- (3) お子さん自身が家庭学習を習慣化できるようになるまで、保護者として見守っていきましょう。必要に応じて手を差し伸べることも大切です。やがてお子さん自身が自立し、自分の力でできるようになるまで、寄り添う姿勢を持ちたいものです。
- (4) 読書は、その人の世界観を広げてくれます。自分で読む力を付けるまでは、読み聞かせによって読書活動の楽しみ方に触れさせることができます。純粋にストーリーを楽しむことに加え、語感を磨く、語彙を増やす、文字や言葉の理解を深める、文章構成力を高める、知識を豊かにすること等、様々な力を目覚めさせ、伸ばしていきます。

3 心をつなごう 親子の対話 よさを引き出す あったかことば

- (1) 子どもたちのコミュニケーション能力は、親子のスキンシップや家族での団らんが土台となり、様々な人との交流や体験を通して、自らの実感・納得や感動を経験することによって育まれていきます。
- (2) 集団生活の中で友達と一緒に学習したり遊んだりするための基本ツールとして、あいさつ、返事、正しい言葉づかいを身に付けたいものです。コミュニケーション力を育むための基礎基本です。
- (3) 子どもの言語環境をつくる中で最も身近な存在は、保護者です。保護者として子どもに身に付けさせてあげたいことは、保護者自身が生活の中でその姿を見せることです。

4 かしく付き合う TVやスマホ しっかり守ろう わが家のルール

- (1) 山形県の子どもたちは、テレビ視聴(DVD視聴含む)に長時間費やす割合が全国と比べて高い傾向にあります。最近の脳科学の研究では、TV、ゲーム、スマートフォン等の使用時間によっては、学習の効果を打ち消してしまうという結果¹もあるようです。各家庭でのルールづくりはもちろん大切なことです。
- (2) きまりを守ることや節度を保つことは、自分を律する強い精神を育みます。
また、きまりを守る子はみんなに愛され、自己肯定感が高まります。自分で判断力を磨く生活の繰り返し、子どもの自主性を高めます。
- (3) スマートフォン等の節度ある使い方をお子さん自身に身につけさせたいと願うならば、保護者自身がその模範となる姿を示していきましょう。

5 体験しよう 地域の中での豊かな学び 郷土で培う人間力

- (1) 子どもの頃の「自然体験」や「地域活動」等の体験が豊富な人ほど、「何事にもチャレンジしてみたいという意欲」や「規範意識」「人間関係能力」が高いという調査結果²があります。
- (2) 学校での学びを生かす場、社会性を身に付ける場として、地域行事に積極的に参加させましょう。人とのコミュニケーションを磨く場です。
- (3) 山形には先人が受け継ぎ、守り育んできた素晴らしい文化があります。優れた山形の文化に子どものうちから触れさせたいものです。そして山形に誇りをもち、自分の郷土を愛する芽を育てていきたいものです。

¹ 川島隆太監修 横田晋務著 「やっちはいけない脳の習慣」青春出版社

² 国立青少年教育振興機構 「子どもの体験活動の実態に関する調査研究」

4 「やまがた子育て5か条」の活用について

(1) 保護者への学習の機会

子どもの生活習慣を見直すきっかけとして最も影響を与えやすいのは、保護者の皆さんです。子どもに身につけさせるためには親が模範となり、家族みんなで取り組もうとする、強いリーダーシップを発揮していくことが大切です。

幼稚園・保育所・認定子ども園・小学校・中学校において

- ・PTA総会 ・PTA研修会 ・学年懇談会 ・学級懇談会
- ・母親委員研修会 ・入学説明会 ・就学時健診 ・親子学習

地区での学習、研修の機会において

- ・県及び地区単位のPTA研修会 ・地区座談会 ・学区懇談会
- ・やまがた子育て講座 ・幼児共育ふれあい広場
- ・家庭教育支援フォーラム ・指導者等研修会
- ・スポーツ少年団(市町村における研修会・育成母集団ごとの研修会)

その他

- ・市町村で実施される乳幼児健康診査
- ・青少年育成市町村民会議
- ・職場の研修

各家庭に指針の情報が行き渡るよう、これまで培ってきた家庭教育支援に関する推進体制及び取組みの機会を最大限活かしていきます。

(2) 県家庭教育アドバイザーによる講座・研修

山形県教育委員会では、家庭教育支援について豊富な経験と知識を持ち、県が推し進める事業等について専門的な立場で協力くださる方を「山形県家庭教育アドバイザー」として委嘱し、県事業や市町村が実施する保護者向け講座等で活動していただいています。

県家庭教育アドバイザーの方々には、「子どもの生活習慣に関する指針」の推進役として今後活動していただく予定です。各種研修会では、「指針」の趣旨や理念について十分に御理解いただいたうえで、「親としてののかかわり方」等、具体的な講話や相談を実施します。

【参考：平成30年度 県家庭教育アドバイザー数 県内30名】

5 指針の策定に至るまでの経過

県民視点での指針策定となるよう、各方面の代表者で構成されている山形県家庭教育支援検討部会の委員より、本指針の策定にかかる策定委員として務めていただきました。平成29年6月から10月までの間に計3回に渡りその検討を重ねてきました。

山形県家庭教育支援検討委員(策定委員)

大学教員、医師、子育て支援関連 NPO 法人代表、県 PTA 連合会代表
県連合小学校長会代表、県家庭教育アドバイザー地区代表者(4名)
県子育て推進部次長(兼)子育て支援課長、県教育庁義務教育課長

(1)策定委員会における主な協議事項

○第1回(平成29年6月13日開催)

「策定委員会の立ち上げについて」「指針策定の趣旨説明」

「指針の骨子について」「策定委員の意見聴取」

○第2回(同年8月30日開催)

「意見の整理・確認」「事務局案①に対する策定委員の意見聴取」

○第3回(同年10月31日開催)

「事務局案②に対する策定委員の意見聴取」

「策定委員による指針に掲げる5項目の整理」

策定委員会の提言を反映させた事項

- ・できる限り保護者へ呼びかける形式で標語を作成すること。
- ・親が子を認めることなど、子どもの自尊感情を育めるようなものも明記すること。
- ・先輩の成功体験を盛り込むこと。
- ・小さいときからの言語環境を整えるはたらきかけを盛り込むこと。
- ・親が子どもの模範となることを、改めて提言すること。
- ・「子どもの学ぶ意欲」を高めるための提言を盛り込むこと。
- ・保護者に押し付ける形ではなく、保護者ができているところを認められるよう、重点5項目についてはさらに具体的な行動様式レベルでチェックできるようにすること。
- ・保護者に提示する学習資料はA4判では大きすぎる、女性(母親)でも手軽に扱うことのできるサイズを考慮すること。

(2)山形県総合教育会議での意見

○第4回山形県総合教育会議(平成 28 年 10 月 31 日開催)

テーマ「学力向上に向けた家庭教育の充実」に関する協議

○第6回山形県総合教育会議(平成 29 年 10 月 30 日開催)

テーマ「確かな学力の育成」に関する協議

県総合教育会議の提言を反映させた事項

- ・積極的に活用してもらうような取組みを提示すること。
- ・TV 視聴等の家庭のルールづくりを訴えていくこと。
- ・全国学力・学習状況調査のデータを活用し、望ましい生活習慣についてわかりやすく情報発信すること。
- ・家庭学習の取り組み方について、情報発信すること。
- ・家庭教育支援について、各家庭に周知徹底、認知の必要性を考慮すること。
- ・家庭、地域、学校の連携による推進を図ること。

(3)山形県社会教育委員の会議での意見

○第 182 回山形県社会教育委員の会議(平成 30 年 2 月 15 日開催)

県社会教育委員の会議の提言を反映させた事項

- ・家庭の中で「みんなで取り組んでいこう」となるよう、親も子どもと一緒に取り組んでいくことが大事であるということを訴えていくこと。
- ・自然体験の重要性も加えて盛り込むこと。

これら諸会議での協議事項を踏まえ、その具現の在り方を検討するとともに、子どもの生活習慣改善に効果的な方策を打ち出しました。

参考1 第7次山形県教育振興計画との関連

「第7次山形県教育振興計画」では、目標を実現するためのメッセージとして、「保護者、家庭の皆様へ」として次のような目指すべき行動や考え方等を例示しています。

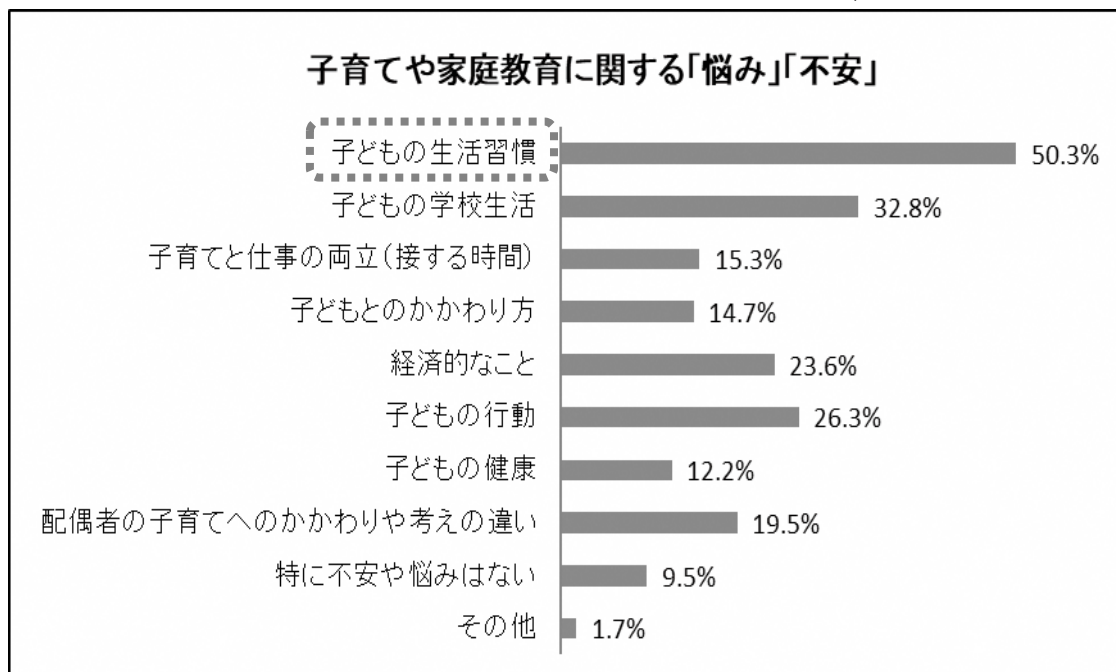
- ・家庭は子どもの学びや社会性を育む原点となる
- ・子どもが自分で育つ力を信じ、遠くから見守りながら困った時は手を差し伸べる
- ・家庭は子どもが安らげる場所となるなど、自分を大切にするとともに、他者を尊重する など

さらには、「県民みんなでチャレンジ！」として、目標達成に向けて、4つの重点的な取組み「体験」「探究」「尊重」「協働」を掲げ、各取組みにおいて家庭での取組み例を示しています。県では、具体的な取組みを進めるよう啓発するとともに、要請に応じて県家庭教育アドバイザーを派遣し、社会全体で家庭教育を推進します。本指針が、子どもの生活習慣を見直す運動として発展することや保護者に対する情報提供用の資料として活用されることが期待されます。

参考2 保護者のニーズとの関連

山形県教育委員会では、家庭教育に関する保護者の学習機会として、「やまがた子育て講座」を行っています。参加した保護者の方々のアンケートからは、「子育てや家庭教育に関する『不安』『悩み』」に関して、「子どもの生活習慣」と回答した保護者が全体の50.3%を占めることがわかりました。子どもの日常生活習慣について、直接的に関わる立場でありながら、約半数の保護者が何らかの不安を抱えたまま生活しているということになります。このような家庭の状態に対し、不安を解消できるようにするための具体的な支援が必要となっています。

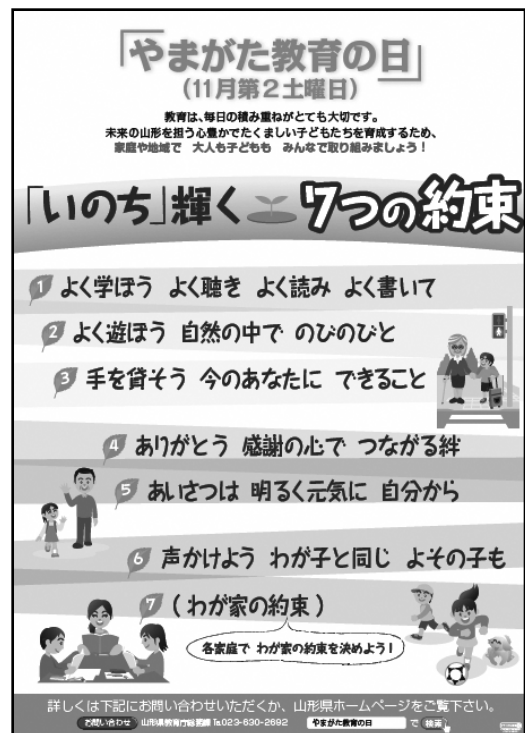
令和5年度 やまがた子育て講座アンケート結果(回答者数 2,880名・複数回答)



参考3

『『いのち』輝く7つの約束』との関連

平成24年に山形県教育委員会が策定した「やまがた教育の日」の趣旨では、学校、家庭及び地域の連携・協力の下、本県教育の充実に向けた取組みを推進することにより、未来の山形を担う心豊かでたくましい子どもたちを育成することを掲げており、本指針の趣旨と合致します。また、『『いのち』輝く7つの約束』の理念を継承しつつ、その7番目に掲げられている項目「わが家の約束」として具体的に各家庭で取り組む参考事例となるよう、積極的に活用いただくことを念頭に置き、指針策定において検討を重ねてきました。



- やまがた教育の日
- 『いのち』輝く 7つの約束

これらについての情報は、下記の URL のサイトを御覧ください。

<https://www.pref.yamagata.jp/700001/bunkyo/kyoiku/iinkai/kyouikuiinkai/kyouikunohisuishin/yamagata-kyoikunohi.html>



左記HPはこちらから

参考4

- 教育基本法
(家庭教育)

第10条 父母その他の保護者は、子の教育について第一義的責任を有するものであって、生活のために必要な習慣を身に付けさせるとともに、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図るよう努めるものとする。

- (学校、家庭及び地域住民の相互の連携協力)

第13条 学校、家庭及び地域住民その他の関係者は、教育におけるそれぞれの役割と責任を自覚するとともに、相互の連携及び協力に努めるものとする。

「子どもの生活習慣に関する指針」学習資料

やまがた

みんなで取り組む生活習慣づくり

子育て5か条

子どもには、本来、自らの力で心身ともに成長する力が備わっています。
その力を目覚めさせ、子ども自身の育ちを支援していきましょう。

1 身に付く生活習慣

早寝早起き
知力・体力

2 心をつなぐ生活習慣

親子の対話
よさを引き出す
あったかことば

3 体験しよう

かしこく付き合う生活習慣

4 TVやスマホ
しっかり守ろう
わが家のルール

5 地域の中での
豊かな学び
郷土で培う人間力

子どもの生活習慣
づくり応援
(山形県HP)

アンケートに
ご協力ください

家庭教育に関する連携協働検討部会 / 山形県教育委員会

名称「やまがた子育て5か条」について

「子育て」とは…

子どもたちに本来備わっている「自分自身の力で成長する力」を目覚めさせ、引き出していきたいという強い願いが込められています。

親が「育てる」というよりも、「子が育つ」ことを支えることに主眼を置いた表し方です。

学習資料の内容について【2・3ページ目】

文言(表現)について

「正答率が高い人は毎日同じくらいの時刻に起きて、朝食を食べている。」とは言えても、「毎日同じ時刻に起きて朝食を食べれば、正答率が高くなる。」とは言いにくいものがあります。「同じ時刻に起きる」「毎日朝食を食べる」ということが、よりよい生活のリズムをつくり子どもの能力を目覚めさせることにつながるという理解が適切です。

習慣づくりを提案します。

1 朝に付けよう
 毎朝早起き朝ごはん
 知力・体力 朝から金満
 おはよう。ちゃんと自分で起きられたね。一緒に朝ご飯を食べよう。
 おはよう。カーテンを開けて、部屋に朝日を入れましょう
はじめの一步
 毎日同じくらいの時刻に起きて、朝食を食べている人は、学力調査で正答率が高い傾向にあります。(R5全国学力・学習状況調査より)

2 コツコツやる
 我が家の学び
 毎日続けて 知力を磨く
 約束の時間だね。自分から始められていいね。
はじめの一步
 お父さん。学校で楽しいことがあったのよ。
 子どもの話を最後まで聞くようにしましょう
 よかったね。どんな楽しいことがあったの？

3 お父さん、学校で楽しいことがあったのよ。
 お父さん。学校で楽しいことがあったのよ。
 よかったね。どんな楽しいことがあったの？

4 かしく付き合おう
 TVやスマホ
 しっかり守ろう
 我が家のルール
 今日はゲーム何時までの予定なの？
 今日は、6時30分までよ。あと10分。
 ※1 子どもの頃 親にほめられながら、がまんする心や社会のルール等を教えてもらえた人は、「物事に前向きに取り組む意欲」が高くなる傾向にあります。

5 体験しよう
 地域の中での
 豊かな学び
 郷土で育つ人間力
 近所のおばあちゃんの郷土料理教室しかった。家でも作ってみようかな。
 楽しかっただね。一緒に作るから教えて。
 ※2 子どもの頃 学ぼう意欲が高かったり、夢中になって外で遊んだりした家族との愛情や絆を感じていた近所の人にほめられたり、教えてもらったりしたこのような経験をした人は、「コミュニケーション能力」や「自己肯定感」「へこたれない力」が高くなる傾向にあります。

※1.2 国立青少年教育振興機構調査報告(2018)より

親子のやり取りについて

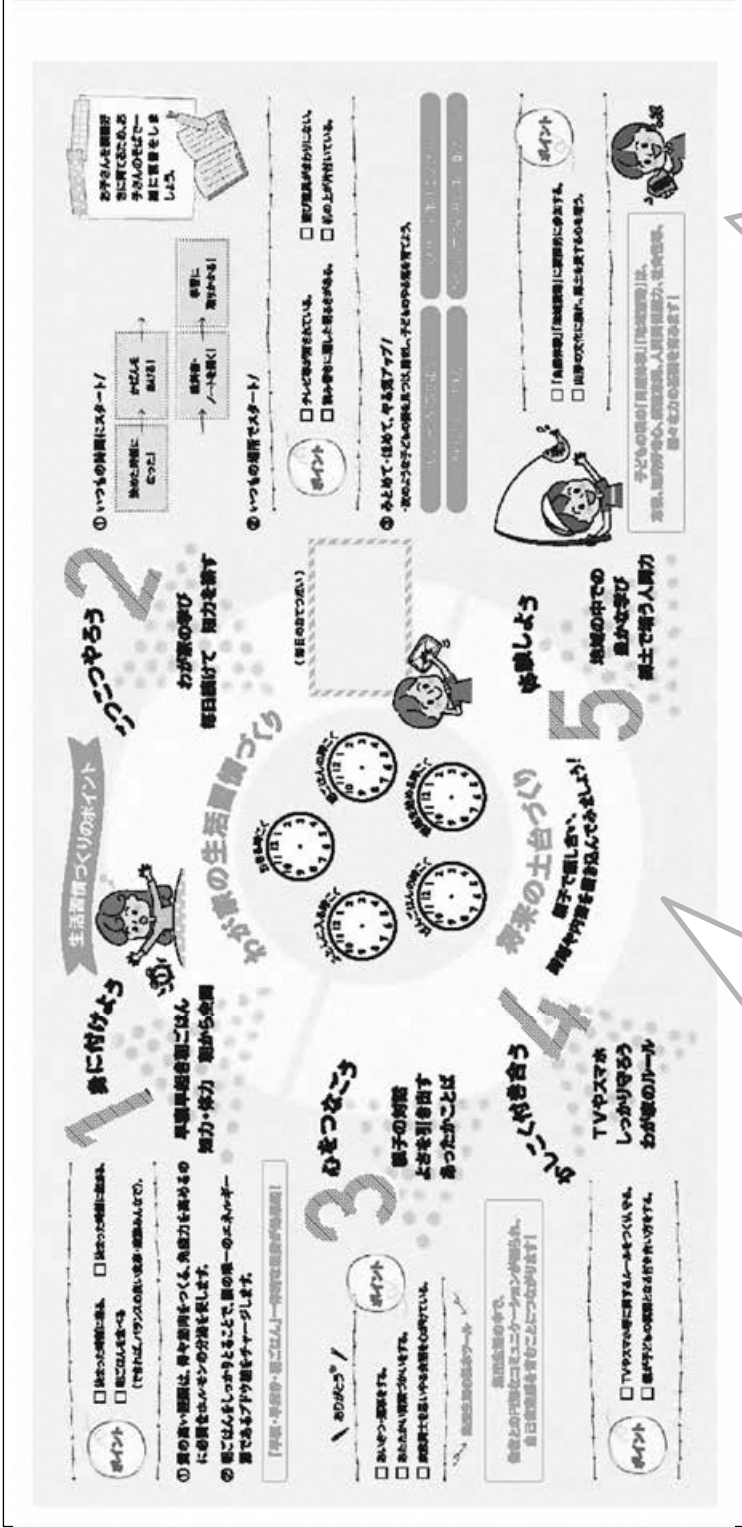
5か条それぞれに、親子のかかわりの姿を示しています。保護者がどのようにかかわればよいかイメージできるようにしています。子どもの意志を大切にすると、がまんさせる時の見極めが大切です。

※1、※2「子どもの頃・・・」について

「子供の頃の体験がはぐくむ力とその成果に関する調査研究報告書」(H30 国立青少年教育振興機構)をもとにしています。

※1※2の経験をした子ほど高くなる傾向にありますが、子どもの頃の経験だけがその要因とは言えません。

学習資料の内容について【4～6ページ目】



5 か条において達成したいことを「ポイント」として示しています。指導者の意向でさらに補充、追加してもいいでしょう。

「時刻」と「手伝い内容」について書き込めるようになっていきます。親子で話し合い、決定し、実行することを大切に切り上げていきます。家庭にそのまま掲示することもできます。

わが家の学びの充実に向けて ～子どもの探究心を生み出すかわり～

変化の激しい社会の中でたくましく生き抜くために「生きて働く知識や技能」、「未知の状況にも対応する力」、「学んだことを人生や社会に生かそうとする力」などが求められており、各学校では探究的な学びを推進しています。全国的な調査によると、家庭学習時間での出来事が話題になる家庭では、子どもの学習意欲が高まります。子どもの探究心と家庭学習をつなぐことを大切にしていきたいと思います。

保護者への期待①

家庭学習を習慣化し、充実させていくため、保護者に期待するかわり方や振る舞い方を示しました。

学びを「おもしろい!」「楽しい!」と言える子どもへ

「やるべきこと」と「やりたいこと」の両立を!

- 時間を効果的に使って学習する習慣につながります。
 - 大人が新聞や本を読むなどの学ぶ姿を示すことが、子どもの主体的な学びにつながります。
- ※家族と一緒に空間で学習する家庭では、子どもに家庭学習の習慣が身に付きやすい傾向にあります。

子どもが体験や学びを大切だと思えるようなかわりを!

- 身の回りの様々な不思議や感動に対して「なぜ?」と問うことが、深い学びにつながります。
 - 体験や学びを通じた子どもの成長を具体的に認めることが、自信や意欲につながります。
- 【例】「できるようになるまで、よくがんばったね。」
- 日常の体験が、生きた学びにつながります。
- 【例】お買い物の時、だいたいいくらになるのか代金を考える。
料理のお手伝いの時、水のかさや、ものの重さを実感したり、仕事の段取りについて考えたりする。



保護者への期待②

日常生活や体験の中にも学ぶ要素があり、子どもの意欲を向上させる機会が多くあることを伝えています。保護者の方にも、日常生活において子どもの能力を伸ばす機会を多くとらえてほしいものです。

学習資料の内容について【8ページ目】

保護者の体験

悩みながら子どもとかかわっている話を掲載しました。保護者のかかわり方の一例として参考にしてください。指導者によって、講座内容によっては別事例で補強すること考えられます。

先輩パパ・ママの体験談



子どもとの話が「～しなさい」「まだなの」と指示するような言葉が多くなってしまいます。特に平日は子どもとゆったりとした時間を作ることができません。

寝る前に子どもが読みたい本を読み聞かせています。それだけで親子でゆったりした気持ちになり、安心した時間を過ごして寝ることができます。



子どもの話を最後まで聞こうと思うのですが、つい子どもの話を先読みして、私が先にしゃべってしまいます。

子どもの気持ちや考えを受け止めるために、話の途中で、いろいろなことに気づいても最後まで話を聞くようにしています。



大人になってきたのか、息子が私の問いかけに対して、返事を返してきません。

子どもが話しかけてきたら、しっかりと聞くことで、いつも見守っているという姿勢を示すようにしています。

家庭教育電話相談 「ふれあいほっとライン」

子育ての不安や悩みなどについて、相談員が一緒に考えます。
子どもさんからの相談にも応じます。
お電話お待ちしております。



TEL 023-630-2876

〈月・金〉 9:00～16:15

不登校についての不安や悩みについて 話をしてみませんか

- ◎学校へ行きたいけれど、行くのがつらい
- ◎学習が遅れていかないか心配になってきた
- ◎日中、お家以外の場所ですごしたい
- ◎同じ悩みをもつお家の人どうして話がしたい



＜教育支援センター＞



＜民間支援団体＞

※二次元バーコードを読みとると、教育支援センターや、民間支援団体の情報を見ることができます。
※民間支援団体は、掲載している以外の団体もあります。
※不登校児童生徒に対する効果的な支援を推進するため2017年より「教育機会確保法」が施行されています。

〈この学習資料に関する問い合わせ先〉 山形県教育局生涯教育・学習振興課

TEL 023-630-3344 FAX 023-630-2874 電子メール yshogaku@pref.yamagata.jp

「ひとりで悩まないで」

「自分が立派に育てなければならない」という思いが強い方は、不安や悩みを抱えやすいようです。時には、別の意見に耳を傾けることも推奨してください。

第2章

令和6年度
県事業・市町村事業で実施された

家庭教育に関する講座 実践事例

実践事例に関するお問い合わせはそれぞれの地区の教育事務所へ

- ・ 村山教育事務所社会教育課 TEL(0237) 86-8274 Fax(0237)86-8263
- ・ 最上教育事務所社会教育課 TEL(0233) 29-1441 Fax(0233)23-5573
- ・ 置賜教育事務所社会教育課 TEL(0238) 88-8242 Fax(0238)84-5700
- ・ 庄内教育事務所社会教育課 TEL(0235) 68-1983 Fax(0235)66-3015

令和6年度 家庭教育支援関連事業 実践事例集

県や市町村では、保護者に対して、家庭教育支援に関する学習の機会を提供しています。内容は、「親のかかわり方」「子どもの理解」「生活習慣全般」「メディアやスマホ利用」「性教育」等、依頼者のニーズに応じて様々なテーマで開催されています。

これらの学習機会に「子どもの生活習慣に関する指針・やまがた子育て5か条」の趣旨や活用について普及・啓発を図ることができます。

◆やまがた子育て講座

親に対しての学びの機会を提供するために、主に小・中学校を会場に、家庭教育・子育てに関する講座を実施しています。

◆幼児共育ふれあい広場

主に、幼稚園や保育所を会場に、「人やモノ、自然とのかかわり」と地域とのかかわりを大切にした親子の体験的な活動等を実施しています。

◆家庭教育支援フォーラム

県内の幼稚園や小・中・高教員、保育士や子育て支援者などを対象に、家庭教育支援に関する研修を実施しています。



◆子どもの読書活動推進研修会

多様な子どもが読書に親しむ機会や障がいの有無によらないアクセシブルな書籍の整備やデジタル社会に対応した多様な読書活動を実現するために、公立図書館・図書室、読み聞かせサークル、教員、保育士等の理解促進・情報交換を図る研修会を実施しています。

◆子どもの読書活動推進講座

子どもの多様性や発達段階に応じ、自然科学や歴史、ものづくり等にかかわる体験と読み聞かせ会を組み合わせた魅力的な親子講座を実施しています。

それぞれの取組み事例(令和6年度実施)についていくつか紹介しますので、指針の活用を検討する際に、また実際の講座や研修会を企画する際の参考にして下さい。



令和6年度山形県家庭教育アドバイザー一覧

R6.4/1現在

地 区		氏 名	職 名	専 門 領 域
村 山	1	遠藤 正明 えんどう まさあき	元山形県PTA連合会長	家庭教育全般
	2	畑中 昌則 はたなか まさのり	山形県マジック協会会長	しつけ 孫育て
	3	渡邊 裕子 わたなべ ゆうこ	紙ふうせんの会代表 保育園長	読み聞かせ わらべうた 幼児共育
	4	伊藤 洋子 いとう ようこ	臨床心理士 スクールカウンセラー	臨床心理
	5	二瓶 明美 にへい あけみ	認定音楽療法士 にこにこ音楽子育て支援の会長	家庭教育全般 特別支援教育 親子ふれあい活動
	6	矢口 友理 やぐち ゆり	山形大学地域教育文化学部准教授	食育 スポーツ栄養学
	7	村山 恵子 むらやま けいこ	NPO法人クリエイトひがしね 事務局長	育児支援 幼児共育 遊育
	8	笹原 英子 ささはら えいこ	元小学校教諭 公認心理士 スクールカウンセラー	子育て相談 家庭教育全般
	9	大沼 千絵 おおぬま ちゅう	元小学校教諭 県スクールカウンセラー	教育相談 家庭教育全般
	10	鈴木理枝子 すずき りえこ	幼稚園保護者会アドバイザー、教育相談アドバイザー 元幼稚園長、元小学校長	家庭教育全般 教育相談
	11	土屋 常義 つちや つねよし	元山形県朝日少年自然の家所長 元小学校長 村山市はやま認定こども園園長	家庭・地域教育全般 自然体験学習
	12	菊地 喜美子 きくち きみこ	フリーアナウンサー こどもアナウンス発声協会講師	コミュニケーション 言葉の表現
	13	須藤 好子 すどう よしこ	元養護教諭 一般社団法人日本アンガーマネジメント協会認定 アンガーマネジメントコンサルタント アンガーマネジメントファシリテーター アンガーマネジメント叱り方トレーナー アンガーマネジメントハラスメント防 止アドバイザー	アンガーマネジメント
最 上	1	阿部 彰 あべ あきら	パリス保育園長	子どもの教育全般
	2	佐藤 成美 さとう なるみ	家庭教育応援・ボランティア活動団体「アベルんち」代表 新庄市読み聞かせ連絡協議会長	不登校 障がい児に対する支援 読み聞かせ
	3	斎藤 秀二 さいとう しゅうじ	元小学校長	学校教育・自然体験
	4	伊藤 淳子 いとう じゅんこ	特定非営利活動法人 さけがわ友遊クラブ クラブマネジャー	健康づくり・レクリエーション
置 賜	1	黒田 三佳 くろだ みか	人材育成アカデミーローズレイン代表 里山ソムリエ®	家庭教育全般
	2	高橋まゆみ たかはし まゆみ	エッセイスト 元南陽市教育委員会教育委員長	家庭教育全般
	3	小野 卓也 おの たくや	三峯山洞松寺住職 人権擁護委員、保護司	家庭教育全般
	4	高瀬 尚美 たかせ なおみ	家庭的保育ルーム「ひよっこ」主任保育士 川西お話し会「きらきら」元会員	幼児教育 読み聞かせ
	5	小松 ひろみ こまつ ひろみ	元養護教諭 長井市教育相談員	生活リズム 心の健康
庄 内	1	齋藤 雅志 さいとう まさし	山形県体操協会会長 前山形県国公立幼稚園会長	家庭教育全般 幼児・小学生
	2	後藤 敬子 ごとう けいこ	ごっと助産院院長	命の誕生 思春期 生き方教育 性教育
	3	金子 健 かねこ たけし	個別支援教室ここ代表	特別支援教育(発達障がい)・子育て支援
	4	丹治 亜香音 たんじ あかお	特定非営利活動法人 明日のたね 代表理事 山形県教育委員会教育委員	子育て支援・自然体験活動
	5	歌川 裕 うたがわ ゆたか	SR会副代表 東北公益文科大学 非常勤講師	家庭教育全般(小学生・中学生・子育て)

◆やまがた子育て講座◆

事例1 「親子で話そう ゲーム・SNSの使い方」

会 場：朝日町立大谷小学校

講 師：鈴木 理枝子 氏（県家庭教育アドバイザー）



<PTA研修会>

- 1 お子さんの様子について
- 2 SNS のプラス面とマイナス面
- 3 ゲーム・ネットゲームの使い方を中心に
 - ・ゲーム依存にならないために
 - ・ルールを決めるために話し合いはどうしたらいい？
- 4 スマホの使い方を中心に
 - ・ネットの危険から守るために



<参加者の感想>

- ・子どもとの関わり方がとても勉強になりました。頭ごなしに怒ってしまうときがあるので、一呼吸してきちんと話し合うなど、やはり話し合いがとても大事なんだと再確認することができました。
- ・頭ごなしに言う親にはなりたくないなと思っていましたが、日々精一杯で忘れていました。たくさん笑いながら子どもと一緒に成長したいです。
- ・親は子どものお手本になっていることをあらためて実感しました。
- ・スモールステップで「守れた」ということを子どもに思ってもらい、自信をつけていきたいと思いました。

事例2 「野菜を知って野菜をとろう」

会 場：真室川町立真室川北部小学校

講 師：吉田 知史 氏（カゴメ株式会社）

<体験>

- ・講座が始まる前に、参加者に体内の推定野菜摂取量を調べる計測器「ベジチェック」を体験いただいた。

<全体講演会>

- 1 野菜摂取量
 - ・町の野菜摂取レベルと全国平均、一日に必要な野菜摂取レベル
- 2 なぜ野菜は必要か
 - ・野菜から取れる栄養素と抗酸化物質の働き、例としてトマトの機能性情報
- 3 野菜の上手なとり方
 - ・野菜のとり方のメリットとデメリット、吸収率が高い調理の仕方



<参加者の感想>

- ・親の生活習慣や食生活はそのまま子供に直結するのだと思いました。大人が気を付ける、大人が楽しむのが大事！
- ・子どもにも野菜をしっかりとることが大事だということを伝えながら、食事を工夫してみたいと思います。

事例3 「共に学び 共に笑い 共に育ちあう」

～共育(ともいく)応援団からのメッセージ～

会 場：新庄市立升形小学校

講 師：土屋 常義 氏(県家庭教育アドバイザー)

<全体講演会>

- 1 現代はスマートフォンが普及し、便利になった反面、親が子と向き合う時間や、子どもの「原体験(幼少期体験)」の機会が減少傾向にあります。象徴的なものとして、「ぼくの願いはスマートフォンになることです。」という子どもの作文が紹介されました。

- 2 一方、大人が子どもと向き合う時間は限られており、子どもの頃の体験や、大人との関わり

方などは生涯にわたる人格の基礎を培う基盤であるため、親と子が『共に学び・共に笑い・共に育ちあう』ことが大切であるとお話いただきました。



<参加者の感想>

- ・スマホに関する子どもの作文は衝撃的でした。自然体験などを通じて、子どもが自己肯定感を高められる生活をしたいと思います。
- ・「子どもは親を見ている」、本当にそうだなと思います。楽しみながら頑張りたいです。

事例4 「家庭における子育てについて ～子どもの育ちを支援して～」

会 場：川西町立吉島小学校

講 師：小松 ひろみ 氏(家庭教育アドバイザー)

<全体講演会>

- 1 大切にしたい3つの視点

①さまざまな子育て論

- ・前向きな言葉がけの重要性。

②生活リズムと科学的根拠

- ・「快食」「快眠」「快便」の重要性について、模型や図などを使って説明。

③やまがた子育て5か条を読み込む「心をつなごう親子の対話 よさを引き出すあったかことば」

- 2 子どもの脳を傷つける親たち

- ・心無い言葉がけや子どもの前での夫婦喧嘩など、悪い影響のある行動について説明。

- 3 親として大切にしたいこと

<参加者の感想>

- ・失敗談などを交えた話でとても面白かったです。子どもとの関わり合いで、どんなふうに伝えたら良いかなど悩むこともありましたが、先生のお話を聞いてもっと子どもと会話を楽しんでもみようと思えました。
- ・朝ごはんの大切さ睡眠の大切さを改めて感じました。生活習慣を見直す良い機会となりました。



事例5 「自分を大切に 輝く命のメッセージ ～生きて輝くために～」

会 場：川西町立川西中学校 体育館

講 師：後藤 敬子 氏（ごっと助産院 医院長）

<講演会>

- 1 【1学年】：身体の成長・心の成長
- 2 【2学年】：性と命のバトン、自分らしさってなんだろう？
- 3 【3学年】：思春期の心とからだ・不安や悩みに答えて
発達段階や学年の課題等に応じて、内容を変えてお話しいただいた。



<参加者の感想>

- ・自分や友達の命を大切にしていきたい。
- ・相手を理解し、認め合える関係を築いていけるようサポートしていきたい。
- ・生まれてくることは奇跡、両親に感謝したい。
- ・自分の気持ちを自分でコントロールすることが大切。
- ・これからの中学校生活、家族との向き合い方、高校生になったらどんな生活を送ればいいのかよくわかった。



事例6 「適度な運動で健康な身体と前向きな心を育む

～スポーツとメンタルの関係性～」

会 場：鶴岡市立湯野浜小学校

講 師：佐藤 大 氏（県民の海・プール スパール 所長）

<講演会>

- 1 健康とは
- 2 適度な運動とは
- 3 前向きな心とは
- 4 運動が心にもたらす効果
- 5 メンタルトレーニングについて
- 6 質疑応答

<参加者の感想>

- ・子どもと一緒に身体を動かして、楽しくさらにコミュニケーションをより深めることができましたと思います。
- ・親が子どもの目標を決めるのではなく、子ども自身で目標を設定することで、あきらめずに努力していけるのだということを改めて考える機会となり、親は子どもが決めた目標を応援する側になりたいと思いました。
- ・運動することで体だけでなく心も前向きになれると聞き、自分のために少しでもいいので時間をつくり、体を動かしたいと思いました。



事例7 「どの子ども元気に自分らしく成長するために
～発達凸凹を受け止めるおとなのかかわり方～」

会場：庄内町立余目第二小学校

講師：白畑 真由美 氏（東北公益文科大学 准教授）

<講演会>

- 1 発達の凸凹を理解した声かけの工夫
- 2 「寝る子は育つ」、睡眠の大切さ
- 3 子どもの声を聴くことを意識したかかわり

<参加者の感想>

- ・子どもの成長にとって親の関わり方や睡眠が大事だということがわかりました。子育てについて再確認することができた時間でした。
- ・子どもの話をしっかりと聞くこと、睡眠は大切だということがとても勉強になりました。
- ・早寝、早起きなど親も一緒に頑張っていこうと思いました。
- ・子どもに対しての言葉のかけ方など具体的に例を出していただいたので参考になりました。



◆幼児共育ふれあい広場◆

事例1 「おやこの真ん中に絵本を」

会 場：しばはしさくらんぼ子供園（寒河江市）

講 師：渡邊 裕子 氏（県家庭教育アドバイザー）



<研修内容>

【0～2歳児の保護者会】

～絵本ってどんなものでしょう 絵本の魅力に触れてみましょう～

- ・ 0, 1, 2歳児の子どもたちと絵本を楽しむには？
- ・ ちょっと見てどこかにいっちゃうけど？
- ・ いつからいつまで読んであげるの？
- ・ どんな風に読めばいいの？
- ・ 電子書籍もあるけど紙の絵本との違いは？
- ・ どんな本がいいのかな？



<参加者の感想>

- ・ 大人の考え方とは全く別の考えで、子どもは絵本を読んでいると再認識できました。
- ・ 二人の子を育てています。先生の話聞いて、5才の子はこんな気持ちだったんだ、1才の子には忙しくてちゃんと本を読めていなかった…と思わず涙が出てきました。絵本って大事ですね。先生の声にも癒されました。
- ・ 本はコミュニケーションの一つだと分かりました。いつまで経っても読み聞かせは続くものだと知ることができて、今後たくさん本を読んであげたいと思いました。

事例2 「しめ飾り作り教室」

会 場：金山町農村環境改善センター（金山町）

講 師：栗田 由香 氏

<教室内容>

- 1 親子でしめ飾りの手作り講座を楽しむ。
 - 2 講師の先生より、個別に丁寧に作り方を教えてもらう。
- 参加者同士、作品を見せ合うことで、交流が生まれた。また子どもたち同士もすぐに仲良くなり、作り終わると遊んでいた。



<参加者の感想>

- ・ 子どもが自分の好きなように考えて作ることができていい経験でした。
- ・ 物作りが好きな子なので、完成して嬉しそうな表情を見て参加してよかったです。
- ・ 子どもの自由な発想力に気づけました。

事例3 「親子で楽しむクリスマスリースづくり」

会 場：肘折保育所（大蔵村）

講 師：ハナ屋花店 軽部美貴子氏

<親子体験>

- ・クリスマスリース制作を通して、一緒に作る楽しさと親子のふれあいを図る。
- ・リースの土台に、針葉樹（スギ、ヒバなど）を巻き付け、その上にホットボンドを使って色付けした松ぼっくりや木の実、オーナメントなどを飾りつけた。



<参加者の感想>

- ・親子で一緒に作品を作る機会があって楽しい時間を過ごせました。
- ・親子でゆっくり楽しめました。
ものづくりにいきおいがあってテンションが上がっている姿がとても良かったです。



事例4 「ひだまりおはなし会」

会 場：宮内双葉保育園（南陽市）

講 師：ひだまりおはなし会

<親子ふれあい体験講座「ひだまわりおはなし会」>

- ・子どもたちに馴染みのある絵本のストーリーに様々な楽器（電子ピアノ・チェロ・フルートなど）で効果音を付けたオリジナルの音楽劇の鑑賞

<参加者の感想>

- ・進行の方が引き込まれるような語りで魅力的でした。演じる方、音楽担当の方、語りの方、全てが素晴らしかったです。バックの絵も素晴らしかったです。
- ・素敵な生演奏を聴きながら迫力あるナレーションで孫たち以上に楽しめました。来年も楽しみです。
- ・子どもを家庭だけでなく、地域ぐるみで育てていくのは、本当に大切だと思う。



事例5 「親子でヒップホップダンス」
会 場：なかよしこども園（高島町）
講 師：近野 裕 氏

<親子ふれあい体験講座>

- 1 「体の仕組み」について
- 2 親子でできる簡単な体幹トレーニングの
実践
- 3 リズムに合わせて体を動かそう、
そしてヒップホップダンスを楽しもう



<参加者からの感想>

- ・子どもへの接し方や声のかけ方など、見直すきっかけになりました。
- ・体を動かすことで自然に笑顔になった。
- ・子どもの頃から体のゆがみが出ていることを知りました。
日常的にできるストレッチを知ることができて良かったです。



事例6 「家族で楽しむマジックショー」
会 場：認定こども園 杉の子幼稚園（遊佐町）
講 師：保科 元 氏（庄内町算数数学マイスター）

<親子体験>

- ・マジックショーを楽しみ、家庭でのふれあいのきっかけにする。

<参加者の感想>

- ・家庭に戻っても、同じ体験をしたことで会話が弾み、さらに楽しい時間を持つことができました。
- ・今回の講座をきっかけに、子どもの「自分もやってみたい！誰かに見せたい！」という気持ちが育ち、チャレンジする姿を家族みんなで見ることができました。そんな子どものやってみたい気持ちを引き出すのに、園や地域、家族の連携が大事なのだということを感じました。



事例7 「親子でネイチャーゲームを楽しもう」※小嶋保育園の実施事業

会 場：万里の松原（酒田市）

講 師：佐藤 裕子 氏、尾形 則子 氏、池田 留美 氏

（山形庄内ネイチャーゲームの会）

<親子体験>

- ・準備体操
- ・「同じものを見つけよう」：リーダーが事前に集めた自然のものと同じものを親子で探す。
- ・「フィールドビンゴ」：ビンゴカードを使い、親子で見つけたものにシールを貼る。
- ・「おにぎりカード」：おにぎりの杵を花や石に置いたり空にかざしたりしておにぎりを作って楽しむ。

<参加者の感想>

- ・虫や花木などを観察しながら小さい頃に自分が遊んだ時のことを思い出して教えることができたので楽しかったです。
- ・参加しなければたぶん知らずに過ごしていくと思うのですが、「子どもの日常」の中にもっと目を向けてみようと感じました。



◆家庭教育支援フォーラム◆

村山地区「家庭教育支援フォーラム」①

1 テーマ 「10人いれば10通りの受け取り方がある！」

～疑似体験を通して知的・発達障がいへの理解を深めよう～

2 期日・会場 令和6年5月10日（金） 村山総合支庁西村山地域振興局講堂

3 参加対象 山形県家庭教育アドバイザー、各小中学校教職員、 市町教育委員会家庭教育支援担当者及び読書活動・図書館担当者、 図書館職員、読み聞かせサークル及び読み聞かせボランティア、 市町児童福祉部局担当者、子育て支援センター職員、 保育施設園職員、一般等（参加者 41 名）



4 内 容 講師 知的障害者啓発隊「花笠ほ一ぷ隊」 （古澤 薫 氏、長谷川 薫 氏、二関 郁子 氏） 疑似体験を交えた講座（100 分）



- ・あなたならどう描く？（抽象の具体化、捉え方の違い）
- ・これ、なあに？（シングルフォーカス）
- ・言葉だけで図形を伝えよう
- ・視覚支援とは（写真の有効性、ピクトグラム、文字より色？）
- ・写してみよう（ディスレクシア、UDフォント）
- ・軍手で疑似体験（手先の不自由さ、言葉がけの影響力）



5 参加者のアンケートから（記述抜粋）

- ・体験的に学ぶことで、ここまで新たな発見や気づきがあるものかと思いました。今まで理解しているつもりでも、改めて向き合ってみると見えてくるものがあるのだと思いました。
- ・読み聞かせサークル、子ども教室等でメンバーと共有し、「理解しようとする地域の人」になりたいと思いました。町や学校で、「花笠ほ一ぷ隊のお話が聞きたい」と要望を出したいと思います。
- ・疑似体験によって、障がいのある方の世界を知ることができて大変良かったです。私自身が変わっていくことが大事だと思いました。皆同じ人間！素晴らしい内容でした。
- ・とても明るい花笠ほ一ぷ隊の方々の活動を知ることができ、支援の仕事をしているものとして障害を持つ人の思いを伝えて広めてくださっていることに感謝したいと思います。とても貴重な学びの時間となりました。
- ・実際に色々なことを体験できて、支援が必要な子どもたちがどのように感じているのかを身をもって感じることで良かったです。これから子どもたちと関わっていく中で、その子がどんなことに興味があるのか、どんなことが好きなのかはっきり分かるようにして保育をしていきたいです。

村山地区「家庭教育支援フォーラム」②

1 テーマ 「自分の言葉で考えを伝える楽しさを

～『まる語』は魔法のアイテム～

2 期日・会場 令和6年10月4日（金） 天童市立蔵増公民館 集会室

3 参加対象 山形県家庭教育アドバイザー、各小中学校教職員、市町教育委員会家庭教育支援担当者及び読書活動・図書館担当者、村山総合支庁子ども家庭支援課担当者、市町児童福祉部局担当者、図書館職員、読み聞かせサークル及び読み聞かせボランティア、保育施設園職員、一般 等（参加者 35 名）

4 内 容 講師（県家庭教育アドバイザー 菊地 喜美子 氏）

（1）講座（70 分）



- ①自己紹介とまる語
- ②伝わる会話は発声から♪
口の体操、口の使い方、声の出し方、早口言葉、
間の取り方など
- ③こころがまあるくなる言葉の使い方
- ④感想・振り返り・質問等

（2）意見交換（30 分）

5 参加者のアンケートから（記述抜粋）

- ・言葉の発音の仕方、何気なく話していた口の使い方を気をつけるだけで、相手に伝わるようになるのだと思いました。何で伝わらないんだろうと思っているので、間の取り方や強弱、そして 10 才でも分かる言葉選びを気をつけたいです。
- ・この講座に参加する前、子どもを「言葉」で傷つけたことを悔やみ、自分を必ず変えたいと思っていました。思いやりの言葉「まる語」を知り、自分が言われて嬉しい、自分が使って自分も相手も心があたたかくなる言葉を今日から発します。子どもや妻の心の支えになる「言葉」を日々伝え、これからの人生を豊かに過ごしていきたいです。
- ・「言葉を見る」ということが最初分からなかったのですが、講座を聞いているうちに受け取る相手への配慮等でどんな色や形をしているか考えて発することだと分かりました。今後は自分の言葉がどんな形でどんな色なのかを考えて生活していきたいです。
- ・何気なく使っている言葉ですが、相手が親しくなる分だけ遠慮がなくなり傷つけ合ってしまうことも多々…。まる語を意識して人生をハッピーにしていきたいです。



最上地区「家庭教育支援フォーラム」①

1 期日・会場 令和6年6月29日（土） 新庄市エコロジーガーデン

2 参加対象 保育園・こども園関係者、小中義務教育学校教員、家庭教育支援者、市町村教育委員会・福祉部局家庭教育支援担当者、地区 PTA 協議会母親委員及び保護者等（参加者 61 名）

3 内 容

（1）グループワークを交えた講座（90 分）

演題 「怒りの感情とうまくつきあい人生をもっと楽しく！
～思いが伝わる叱り方で円滑な人間関係～」

講師 須藤 好子 氏 （山形県家庭教育アドバイザー）

・怒ることのメリット・デメリット
・アンガーマネジメントとは
・私たちが怒らせるもの
・怒りの連鎖を断ち切ろう



（2）感想交流・情報交換



4 参加者のアンケートから（記述抜粋）

- ・日々の忙しさのせいにして、怒りやイライラは自分の心が作っていると知りました。でも、人は何度でも変わって、無理せず、親自身が幸せになれると知れて、怒りに対する思いも変わりました。今回、このような研修会を通じて知ることができ、大変良かったです。大変勉強になりました。
- ・日常生活の中で、常に冷静でいられたり、上手に叱ることはなかなか難しいことで、どうしても傷つけたり押しつけがましくなることがあります。こうした機会に自分自身を振り返るのか、そのまま続けるか、では大きな差があるように思います。少しずつ叱り方を変えていくことで、子育てが楽しくなるのかなと思いました。
- ・自分はどんなことに対して怒りの感情が出るのかを分析するいい機会になりました。ひと昔前の叱らない教育ではなく、コントロールすることが大切なのだと感じました。
- ・グループで話す機会が多くあり、参加型の研修会であったため、主体的に参加できて良かったです。
- ・ほかの学校の保護者や先生と接する機会がほとんどないので、ありがたかったです。大変有意義な時間を過ごすことができました。

最上地区「家庭教育支援フォーラム」②

1 期日・会場 令和6年9月3日（火） 遊学の森（金山町）

2 参加対象 保育園・こども園関係者、小中義務教育学校教員、家庭教育支援者、市町村教育委員会・福祉部局家庭教育支援担当者、読み聞かせサークル会員、放課後児童クラブ関係者等（参加者 15 名）

3 内 容

（1）講演と体験（120 分）

演題 「ようこそ 森へ ～自然体験のススメ～」

講師 矢口 末吉 氏 （前鮭川村教育長・森の案内人）

≪講演≫

- ・自然体験のよさ
- ・実際の活動例

≪体験≫

- ・ネイチャーゲーム（色さがし）
- ・ススキでフクロウをつくろう



（2）感想交流・情報交換



4 参加者のアンケートから（記述抜粋）

- ・自然の中で様々な体験をすることで、子どもたちの発想力、危機感知能力の高まりが期待できることがわかりました。
- ・痛いことを知ることは、他人に痛みを与えないことを学びました。
- ・常に子ども目線で考えることがどれだけ難しいことか、大人はこれまでの経験などにとらわれているので、童心に帰る大切さを学びました。
- ・今の時代の子どもたちは、このような機会を設けなければ自然とふれあうこともなく、地域の自然に関する知識を伝えることも難しくなっているのだと再確認しました。
- ・葉っぱで遊び、童心にかえることができた。子育てや事業に生かしたいです。
- ・安全であることも大切だが、けがをして初めて知ることもあり、やってみるものの重要さを感じました。
- ・ワークショップ「森の中に出かけてみよう！」で、いろいろな色を探して見ましたが、ありそうでなかなか見つけれず、難しかったです。
- ・自然の中で学ぶことは無限であることを学びました。

置賜地区「家庭教育支援フォーラム」①

- 1 期日・会場 令和6年5月22日（木） 置賜総合支庁西置賜地域振興局 講堂
- 2 参加対象 山形県家庭教育アドバイザー、各市町家庭教育支援担当者、幼稚園・保育園・こども園等関係者、子育て支援センター関係者
(参加者 32 名)

3 内 容

講演 「思春期のからだと心の健康～自律神経失調症からの身体症状～」
講師 小松 ひろみ 氏（山形県家庭教育アドバイザー）

- 1 はじめに
 - ・家庭教育も時代とともに変化。
「しつけ」「生活リズム」より「ネット利用」「日々の生活」に。
- 2 大切にしたい3つの視点
 - ① 連動している「痛み」と「不安」
 - ・手を当てて心の痛みを聞く。
 - ② 「生活リズムの乱れ」から「自律神経の乱れ」や「起立性調節障害」
 - ・起立性調節障害について
 - ・事例の紹介
 - ・最寄りの学校の実態
 - ③ 思春期の心のメカニズムを知る
- 3 家庭で大切にしたいこと
 - ① どの子にも、どの大人にも、どの地域の方にも、平等に公平にあたたく普段の会話から、情報や子育てのヒントを得ることが多い
 - ② 子育て5か条に学ぶ 事実を事実として伝える
 - ③ 多くの失敗やハプニングから学び、たくましい力を
 - ④ 相談できる人を見つけ、人の力を借りる
 - ⑤ 明るく大らかに生きていく姿を見せながら 困ったときは寄り添って

4 参加者のアンケートから（記述抜粋）



- ・子ども向けの分かり易い劇で課題が明確となり、対処法も子どもにも大人にも伝わるものでした。対応の参考になりました。
- ・メンタルヘルスの劇、どのようなものなのかな？と思っていましたが、とても面白く、とてもわかりやすいもので驚きました！私も実践してみたいなと思いました。
- ・今、子育て中であり、不登校支援にも関わっている中で、改めて大切と思えることをいくつも教えていただき、気付かせていただきました。

置賜地区「家庭教育支援フォーラム」②

1 期日・会場 令和6年9月17日（火） 置賜総合支庁西置賜地域振興局 講堂

2 参加対象 山形県家庭教育アドバイザー、各市町家庭教育支援担当者、幼稚園・保育園・こども園等関係者、小学校教員等（参加者43名）

3 内 容

講演 「知的・発達障がいの理解啓発」、疑似体験

講師 古澤 薫 氏、長谷川 薫 氏、二関 郁子 氏

（知的・発達障害理解啓発キャラバン 花笠ほーぷ隊）



4 参加者のアンケートから（記述抜粋）

- ・実際に体験してみると、「??」が多く、「できないもどかしさ」「悔しさ」等を感じることができた。そこを「できた」「わかった」につながるサポートの大切さ、みんなでその個性を認めていく大切さを感じた。
- ・実際に体験してみたの気づきがたくさんあった。当たり前に行っていることは、誰かにとっては当たり前のことではないこと、それぞれの得意、不得意を理解して、フォローし合える世の中になっていければと感じた。職場の職員にも共有し、今後にかاشていきたいと思う。
- ・最後の動画の中にあつた障害のある方の「障がいがあつてよかった。」という言葉がとても心に残りました。まわりの人、環境、理解によってそう思うことができるようになるのだと感じました。私も障がいのある方が安心して過ごせるよう、理解し、手助けしていただける保育士、支援員になりたいです。

庄内地区「家庭教育支援フォーラム」①

1 期日・会場 令和6年6月27日（木） 庄内総合支庁分庁舎2号会議室

2 参加対象 保育士、幼稚園・小学校・中学校教諭、養護教諭、行政職員、
家庭教育アドバイザー等（参加者32名）

3 内 容

（1）テーマ：「怒りの感情と上手に付き合おう

～アンガーマネジメントで自分も相手もハッピーに～」

（2）講 師： 須藤 好子 氏（県家庭教育アドバイザー）

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1 怒りとは2 私たちを怒らせるもの3 アンガーマネジメントの3つのコントロール4 怒りの連鎖を断ち切ろう |
|--|



4 参加者のアンケートから（記述抜粋）

- ・怒りを数値化することで客観的な分析につながり、そのことによって冷静に捉え直すことが可能になることがわかった。また、誰かに自分のことを話す自己開示の場面が多くあったので、そのことも第三者の立場で自分のことを見つめることができるのかもしれないと考えた。
- ・怒りやネガティブな感情が湧き上がってくる自分を客観視する視点を持つことができるようになったと思う。普段からガスを溜めこまないよう意識してリラックスする時間を作りたいと思う。
- ・自分の日頃の怒りを客観的に考えることができ、今後の対応を考えたり改めたりするよいきっかけとなった。みなさんで和気あいあいとワークショップができてよかった。
- ・家庭でも仕事でも、怒りの感情を持つとなかなか気持ちを切り替えられずにいることがあったので、考え方を教えていただき、参考になった。トライ&エラーで変わっていける。日々の生活に生かしていきたいと思った。
- ・講師の先生のお人柄もあり、楽しく和やかに研修できた。怒りは防衛感情であり自然な感情なので、なくすことは不可能というお話が印象的だった。怒りの正体は自分の中にあり、自分でコントロールできるということを学んだので、アンガーマネジメントを心がけていきたい。

庄内地区「家庭教育支援フォーラム」②

1 期日・会場 令和6年11月1日（金） 庄内総合支庁講堂

2 参加対象 保育士、幼稚園・小学校・中学校教諭、養護教諭、行政職員、
家庭教育アドバイザー等（参加者 32 名）

3 内 容

(1) テーマ：「気になるあの子にわたしができること
～児童相談所からのヒント～」

(2) 講 師： 中島 貴史 氏（山形県庄内児童相談所
地域指導主幹（兼）次長（兼）児童福祉司）

- | |
|----------------------|
| 1 山形県の児童虐待の現状 |
| 2 児童相談所の役割 |
| 3 様々な視点から子どもへの対応を考える |
| 4 子どもたちへの支援を通じて感じたこと |

4 参加者のアンケートから（記述抜粋）

- ・子どもの困り感を想像したり、探ったりしながら寄り添っていきたいと改めて強く思った。
- ・子どもだけでなく、保護者も支援するという視点を持つことも大切だと思った。子どもたちを取り巻くみんなで考えていく必要がある。
- ・子どもや保護者の思いをしっかりと傾聴することの大切さや難しさを改めて感じた。
- ・いろいろな観点から子どもたちを見ていくというヒントを得ることができた。「気になるあの子」に役立てられるよう、日々実践してみたいと思う。



◆子どもの読書活動推進研修会◆

村山地区「子どもの読書活動推進研修会」①

- 1 テーマ 「すべての子どもたちに『本』と触れ合う楽しさを
～こんな読書活動もあっていい！～」

- 2 期日・会場 令和6年7月3日（水）
河北町総合交流センター サハトベに花
（河北町立中央図書館、交流室A・B）



- 3 参加対象 公立図書館（室）職員、小中学校教職員、
読み聞かせサークル及び読み聞かせボランティア、
市町教育委員会家庭教育支援担当者及び読書活動・図書館担当者、
市町児童福祉部局担当者、市町子育て支援センター・保育施設園職員、
一般 等（参加者 59 名）

4 内 容

- (1) 事業説明（15 分）

- (2) 講話（50 分）

講師：ラーワー ちひろ 氏（絵本作家）

- (3) 河北町立中央図書館・移動図書館車見学（20 分）

- (4) 情報交換及びグループワーク（75 分）

- ・「私のおすすめの一冊」及び日々の実践について交流する。
- ・多様な読書活動のあり方、取組みや工夫について



5 参加者のアンケートから（記述抜粋）

- ・改めて子どもはそれぞれなので、みんなといっしょに行動するということが必ずしも正しいと思わなくて良いのだなと思いました。読み聞かせの時、全員聞いていないと思うとどこが悪かったのかと反省することもありましたが、そういう子もいるという認識で良いのかなと。
- ・支援が必要な子どもたちへの配慮として、「母国語が日本語ではない」又は「識字に困難を抱える」、今まで気がつかなかったことに気づくことができました。
- ・参加した方々の意見を聞くことができて良かったです。講師の先生との出会いが最高でした。
- ・絵本作りにあたって、絵本作家さんのお話を聞いておもしろかったです。なかなか作品作りの様子やインスピレーションを聞くことはできないので。
- ・子どもは今を生きている。大人は今までの中を生きている。その間を絵本（本）を読むことで楽しめる時間になれば良いと思いました。楽しい時間を共有できる読書が続けていきたいです。
- ・絵本に興味のない子どもがいても、それはその子の成長過程だと思って長い目で見ることが大切だと感じました。

村山地区「子どもの読育活動推進研修会」②

1 テーマ 「絵本には魅力がいっぱい！

～好奇心と想像力をかき立てる子ども真ん中の読み聞かせ～

2 期日・会場 令和7年1月22日（水）山辺町中央公民館（第1研修室、図書室）

3 参加対象 公立図書館（室）職員、小中学校教職員、
読み聞かせサークル及び読み聞かせボランティア、
市町教育委員会家庭教育支援担当者及び読書活動・図書館担当者、
市町児童福祉部局担当者、市町子育て支援センター・保育施設園職員、
一般 等（参加者43名）

4 内 容

（1）講 話（60分）

講 師：渡邊 裕子 氏（県家庭教育アドバイザー）

（2）事例提供及び図書室見学（30分）

事例提供者：川村 陽子 氏

（山辺町中央公民館図書室 司書）

（3）意見交換（40分）

- ・「私のおすすめの一冊」を紹介する。
- ・グループごとに講話や事例提供を受けての感想、日々感じていること等について付箋を用いて行う。



5 参加者のアンケートから（記述抜粋）

- ・「絵本は支えになる」というところにとっても共感しました。お話を聞いている間、昔読み聞かせしてもらっていた時の気持ちを思い出し、じーんとしました。子どもたちにとって私もそういう存在になりたいと強く思いました。
- ・読みたい本ではなく、子どもたちが読んでほしい本という考えが自分にはなく、斬新な考えでした。本の帯を新着の紹介POPとして使っていますが、もっと他の使い道があるのかも、と新しい視点をいただきました。
- ・絵本も紙しばいも読んでもらうこと、とてもうれしく、楽しく、心の栄養をたくさんいただきました。いい時間でした。
- ・紙しばいの良さ、おもしろさを感じました。方言やソーラン節など、めっちゃ笑わせていただきましたぁー！
- ・読み手は子どもの想像力や感情を邪魔しちゃいけないんだなぁ、そういう気づかいが必要かなと感じました。子どもはどこかでちゃんと話を聞いている！

最上地区「多様な子どもの読書活動推進研修会」

1 テーマ 「多様な子どもの読書活動や、読書環境整備について

～新庄市立図書館の取り組みから～

2 期日・会場 令和6年11月7日（木） 新庄市民プラザ・新庄市立図書館

3 参加対象 読み聞かせサークル会員、教員・保育士等、協働活動支援員等、学校支援ボランティア、公立図書館（室）職員、市町村教育委員会社会教育主管課担当者等（参加者 35 名）

4 内 容

（1）行政説明 「第4次山形県子ども読書活動推進計画」について

山形県教育局生涯教育・学習振興課 佐藤陽介 社会教育主査

（2）講演及び図書館見学

講師：新庄市立図書館 館長 高橋 一枝 氏

新庄市立図書館 副館長 阿部 明美 氏

【要旨】

○「とらいあ」について（指定管理）

○読書バリアフリーについて（大活字本、拡大写本、LLブック、点字本など）

○「りんごの棚」について

○新庄市立図書館見学



（3）情報交換

講演の感想と、日頃の読み聞かせ活動についての情報交換



5 参加者のアンケートから（記述抜粋）

- ・いろいろなツールを使える場や方法などをもっと広く広めていってほしいと思いました。
- ・「面白いと思える本がない」という中高生が、思わず手にとりたくなる学校図書館の環境整備や働きかけなど、読書や本に興味がない、持てない、敬遠しがちな生徒に図書館教育はどのように携わっていけばよいのかヒントを得たいです。
- ・いろいろなパターンを体験する機会があればいいと思います。
- ・朗読活動に興味があります。
- ・多様な読書に関しては、各機関ともまだきっかけをつかめていない気がします。学校、行政、図書館など、多方面で協力して進めて行くべきだと考えます。
- ・多様な子どもへの対応について学びたいです。
- ・アクセシブルな書籍を使った取り組みなど実際の事例を紹介、研修してほしいです。

置賜地区「子どもの読書活動推進研修会」

(兼 第2回公民館・コミュニティセンター・社会教育関係職員等研修会)

1 テーマ 「子どもが読書に親しむ環境づくり

～すべての子どもに本との素敵な出会いを～

2 期日・会場 令和6年11月7日(木) 川西町交流館あいばる

3 参加対象 各市町教育委員会社会教育主管課、図書館職員、読み聞かせボランティア、小学校・幼稚園教諭、保育士、公民館・コミュニティセンター職員等 (参加者 49名)



4 内容

(1) 講師：山田 昭彦 氏

(一般社団法人 JAPAN 絵本よみきかせ協会認定 絵本よみきかせセラピスト®)

(2) 講演及び演習

- 講演「子どもを取り巻く読書環境づくりについて」
- 演習「絵本よみきかせのコツ講座」



5 参加者のアンケートから(記述抜粋)

- ・仕事上、子どもたちに読むことはありますが、大人を相手に読むことはないため、読み聞かせをして、自分の良さを伝えて頂き、普段の保育を行う上でもとても自信になりました。自分の良さを活かして、これからも子どもたちに、自分の好きな本をたくさん読んで、絵本の楽しさを伝えていきたいと思います。
- ・楽しい絵本に出会うことができました。やっぱり絵本好きだなあ・・・と思いました。そして自分の好きが大事だということ、自分が楽しむこと、伝えたいと思う気持ちが大切だということ。子どもに伝わればいいなあと感じました。
- ・読み聞かせに技術やコツはらず、自分の思いを伝えることで、子どもたちが「楽しい」「もっと見たい」につながるのだと感じた。
- ・読み聞かせてもらうことは、ただ本を読んでもらうだけではなく、心の交流であることが実感できた。とても温かい気持ちになりました。

庄内地区「子どもの読書活動推進研修会」

- 1 テーマ 「今こそ読書の概念アップデート！～読書活動新時代へ～」
- 2 期日・会場 令和6年10月25日（金） 庄内総合支庁講堂
- 3 参加対象 子どもの読書活動に関わるすべての方、幼稚園・認定こども園・保育所教職員、小・中・高校教職員、市町図書館関係者、読み聞かせサークル会員、各市町職員、地域一般の方等(参加者31名)
- 4 内 容
 - (1)説 明 「第4次山形県子ども読書活動推進計画について」
 - (2)講 演
講 師：川越 ゆり 氏（東北文教大学短期大学部子ども学科教授）
【要旨】①現代の子どもを読書に導くには最初が肝心
（読み聞かせと読書の橋渡し）
②大人側の先入観が本嫌いを増やしている可能性
- 5 参加者のアンケートから（記述抜粋）
 - ・ 子どもの頃から、活字に触れる＝本を読むという感覚で育ってきた私にとって、今回の講演は目から鱗だった。私の感覚もアップデートして、子どもたちに還元できればと思う。
 - ・ 紙を媒体とした読書だけでなく、デジタルやオーディオの機器を使った読書活動が当たり前になりつつあるのだと気づいた。思考力をつけさせるための読書ではなく、読書は楽しみであるのだと再認識できた。
 - ・ 大人の読書に対する概念もアップデートしないといけないと感じた。絵本から児童文学につなげるためには、小さい時に文字を読んでイメージが膨らむ楽しさをたくさん経験させておいた方がよいということがわかった。
 - ・ 読書に対する先入観が変わっていくことが再認識できた。学校図書館としては国語科の読解力を養う部分も残しつつ、先生の講話のような読書活動も進めていきたいと感じた。
 - ・ 絵本と児童文学をつなぐ幼年童話の大切さを知ることができた。



◆子どもの読書活動推進講座◆

村山地区「子どもの読書活動推進講座」①

1 テーマ 「見て聞いてさわって！いっしょにさがそう！

絵本ハンターシーズンⅢ」

2 期日・会場 令和6年11月24日（日）山形県立図書館（遊学館）こどもエリア

3 参加対象 3歳～小学3年の子供とその保護者等（参加者16名）

4 内 容

活動協力：東北文教大学 児童文化部 学生12名

顧問：横沢 文恵氏

（東北文教大学短期大学部子ども学科 講師）

(1)【聞いて】（中庭のデッキ）

- ・どんぐりやクリスマス等の秋冬をテーマとした絵本の読み聞かせをする。
- ・フルートとピアノの響きを味わいながら絵本の世界を味わう。

(2)【見てさわって】（こどもエリア全体）

- ・クリスマスのキーワードやエプロンシアター、紙芝居、大活字本、点字書籍等を親子で探しながらビンゴを楽しむ。
- ・ビンゴになったら県立図書館中庭のどんぐりや折り紙作品をゲット！

(3)【やってみよう】（アクティブラーニンググループ）

- ・ビンゴでもらったどんぐりや折り紙作品を参考に、親子で作って遊ぶ。



5 参加者のアンケートから（記述抜粋）

- ・YouTubeなどの動画やスマホゲームに負けてしまうので、どうしたらいいか答えを求めてやってきました。工作に夢中になっていたので、家でもやってみたいと思います。
- ・小さいうちから絵本に親しむことで本を読むのが当たり前の日常になるような習慣づけができたらいいいのかなと改めて感じました。
- ・楽しかったです！お兄さんもお姉さんもやさしく対応してくれました。
- ・大人には思いつかないようなものづくりをされていて、子どものやりたいようにのびのび表現させることの大切さを感じました。
- ・エプロンシアターや大型絵本は、やはり子どもを惹きつけるなぁと思いました。
- ・とても楽しく本さがしや工作をされていて、ビンゴのシールのものを絵本コーナーの中から探せる力が娘にあったことに驚きました。

村山地区「子どもの読書活動推進講座」②

1 テーマ 「Enjoy!フレッドさんと冬あそび」

2 期日・会場 令和7年2月15日（土） ひがしねあそびあランド

3 対象者 ひがしねあそびあランドに来た子どもと保護者等（参加者 117 名）

4 内 容

講師：ラーワー フレデリック（Frederick Isaac Lauer）氏

（「カムイキッズ」共同設立者、ファシリテーター）

○英語の絵本の読み聞かせ

- ・雪や焚火等の冬をテーマにした英語の読み聞かせをする。
- ・お話を聞きたい子どもたちが自由に集まれるようにする。
- ・焚火を囲んだり屋根を作ったりして安全安心な場を設定する。

○好きな冬あそびをしよう

- ・子どもたちの「やりたい」「遊びたい」思いを中心に親子や子ども同士で好きな冬あそびをする。



5 参加者のアンケートから（記述抜粋）

- ・英語に楽しく触れさせたいと思っていたので、英語の絵本もいいなと思いました。英語の本の読み聞かせ、とても興味があります。
- ・雪あそびと読み聞かせの関連がとても良いと思いました。家でもやってみたいです。
- ・今日のように、風景と本の内容がリンクする体験はとてもいいと思います。
- ・制限されることなく自由にあそびができるプログラムで良かったです。欲を言えば、親向けの話も聞きたかったです。
- ・コミックでも何でも本人が読みたいと思ったものを否定しないで触れさせることが大事だと思いました。
- ・家でやらないこと、普段はなかなかできないことを同世代の子とやってみる体験におもしろさを感じました。
- ・小さい子どもが多かったですが、子どもたちがとても興味をもって参加し、手助けしながら遊べていて、親も見ている楽しかったです。

最上地区「多様な子どもの読書活動推進講座」

1 テーマ 「ようこそ！森へ～親子で楽しむ自然の物語～」

2 期日・会場 令和6年10月5日（土） 神室少年自然の家

3 参加対象 最上地区の小学生の親子（参加者 親子9組22名）

4 内 容

講師：○「多様な読書」の紹介 矢口しのぶ氏（おはなしくまさん 代表）
○クラフト体験 神室少年自然の家職員
○おはなし会 おはなしくまさん・マザーズ（真室川町）

活動内容 ○おはなし会

○選択活動

A 絵本でスコアオリエンテーリング

B 木の実でクラフト体験



5 参加者のアンケートから（記述抜粋）

- ・本はもともと好きですが、神室で行うことで飽きずに活動できて良かったです。
- ・普段物づくりをしようと思っても、「やらない！」と言って挑戦することがあまりないので、親子で一緒に作ることができて良かったです。
- ・知らない本についても知ることができて、勉強になりました。
- ・自然の中で本に触れたことが心地よい時間でした。
- ・外での読み聞かせは初めてで、いいお天気で心地よく、親子共々いい時間になりました。
- ・読書支援のための道具が思った以上に多いことがわかりました。
- ・親子でコミュニケーションを取れたので、また参加したいです。
- ・いくつになっても、絵本は心の栄養になるなと感じました。
- ・一人一人の子に合った読書の方法があるのだと勉強になりました。
- ・りんごの棚のことを初めて知りました。子どもにも話してみたいです。

置賜地区「子どもの読書活動推進講座」

1 テーマ 「親子で楽しもう」 星空絵本」

2 期日・会場 令和6年7月13日（土） 飯豊町中部地区公民館

3 参加対象 置賜管内の幼児～小学6年生 親子9組 25名 （幼児5名 児童10名 保護者10名） 南陽市、米沢市、飯豊町からの参加



4 内 容

絵本の読み聞かせと星空の解説を組み合わせ実施

（1）星空に関する絵本の読み聞かせ

講師：読み聞かせボランティア

「あ～すまいり～ず」

『あのほし なんのほし』『ひかりの星』

『ぼくはうちゅうじん』

『ダレ ダレ ダレダ』

『パパ、お月さまとって！』

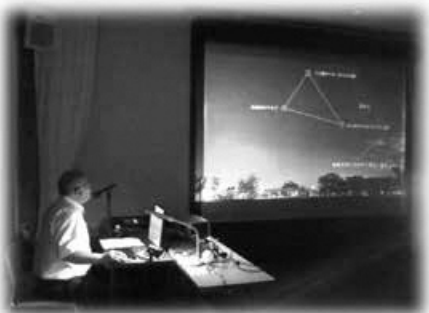


（2）夏の星空解説

講師：手塚 秀幸氏

（いいで天文台天文研究会☆ペルセ）

- ・夏の大三角
- ・北斗七星
- ・星空から宇宙へ



5 参加者のアンケートから（記述抜粋）

- ・本は読んであげられますが、一緒に聞く機会がなかったので参加できてよかった。星空の説明もとても良かったです。
- ・読み聞かせがたくさんあって楽しかった。星のことが勉強になったと子どもが感想を言っていた。ありがとうございました。
- ・初めて参加させていただきました。春に長野県で星空観察をしたのですが、山形でしたいと思います。



庄内地区「子どもの読書活動推進講座」

1 テーマ 「えほんとりサイクル工作でわくわくエコラボ」

2 期日・会場 令和6年9月28日（土） 酒田市総合文化センター

3 参加対象 小学1・2年生の親子13組26名（小学生13名・保護者13名）

4 内 容

（1）エコに関する絵本の読み聞かせ

①「ひとつがつくったどうぶつの道」

②「CO₂のりものずかん」

③「つくってあそぼう！かえるや」

講師：齋藤 宏樹 氏、山形 貴子 氏、竹村 珠美 氏

（読み聞かせサークル「絵本の部屋」）

（2）リサイクル工作教室「段ボールを使ったエアカーリングづくり」

講師：安藤 昭 氏（山形県環境科学研究センター）

5 参加者のアンケートから（記述抜粋）

- ・ 普段読まない本を読んでいただいたことで、知らなかったことへの興味がわいた様子だった。工作は家でもう一つ作るとはりきっていて、とても良い経験になった。
- ・ 絵本の読み聞かせは子どもだけでなく親にも響いた。工作は子どもがとても喜んでおり、参加して良かったと思った。
- ・ 子どもへの本の読み聞かせをもっと積極的にしていこうと思った。



「絵本の部屋」の読み聞かせ



親子でリサイクル工作体験



完成したエアカーリングで遊ぶ

第3章

令和7年度 県家庭教育アドバイザー 名簿&プロフィール

県家庭教育アドバイザーに関するお問い合わせはそれぞれの地区の教育事務所へ

・村山教育事務所社会教育課

TEL (0237) 86-8274

Fax (0237)86-8263

・最上教育事務所社会教育課

TEL (0233) 29-1441

Fax (0233)23-5573

・置賜教育事務所社会教育課

TEL (0238) 88-8242

Fax (0238)84-5700

・庄内教育事務所社会教育課

TEL (0235) 68-1983

Fax (0235)66-3015

県家庭教育アドバイザーとつくる講座

山形県教育委員会では、各学校や保育所等で家庭教育に関する講座を企画、開催する際の推進役となる「山形県家庭教育アドバイザー」として27名の方に委嘱し、各講座等の講師を務めていただいています。アドバイザーの方々が提供できる講座には、それぞれ専門的な領域があります。今回、このガイドブックに令和7年度に委嘱する方々のプロフィールを掲載しますので御活用ください。

また、「子どもの生活習慣に関する指針」を策定する際にも、県家庭教育アドバイザーの代表の方々より御助言をいただいております。子どもの生活習慣に関する指針を講座等で活用する際には、県家庭教育アドバイザーの方々と協働で企画することもできます。

オススメ

☆保護者向けの家庭教育講座等の講師等を県家庭教育アドバイザーに依頼する際は、県家庭教育アドバイザーの方と一緒に講座を企画することをお勧めします。主催者側の思いや願いを汲み取ってくださり、効果的な学習方法を提案していただきます。

☆「子どもの生活習慣に関する指針」及び「学習資料」を効果的に活用してください。「やまがた子育て5か条」の趣旨を、保護者の学習の機会に取り上げ、親子の生活習慣改善のきっかけとなるよう働きかけてください。



令和7年度山形県家庭教育アドバイザー一覧

地 区	氏 名	職 名	専 門 領 域
村 山	1 遠藤 正明	元山形県PTA連合会長	家庭教育全般
	2 畑中 昌則	山形県マジック協会会長	しつけ 孫育て
	3 渡邊 裕子	紙ふうせんの会代表、 元保育園長	読み聞かせ わらべうた 幼児共育
	4 伊藤 洋子	臨床心理士、 県スクールカウンセラー	臨床心理
	5 二瓶 明美	認定音楽療法士、 にこにこ音楽子育て支援の会 会長	家庭教育全般 特別支援教育 親子ふれあい活動
	6 矢口 友理	山形大学地域教育文化学部准教授	食育 スポーツ栄養学
	7 村山 恵子	NPO法人「クリエイティブがしね」事務局長、 心の教育相談員	育児支援 幼児共育 遊育
	8 笹原 英子	元小学校教諭、公認心理士、 県スクールカウンセラー	子育て相談 家庭教育全般
	9 大沼 千絵	元小学校教諭、 県スクールカウンセラー	教育相談 家庭教育全般
	10 鈴木理枝子	学校心理士、ガイダンスカウンセラー、 元幼稚園長、元小学校長	家庭教育全般 教育相談
	11 土屋 常義	元山形県朝日少年自然の家所長、元小学校長、 村山市はやま認定こども園長	家庭教育全般 地域教育全般 自然体験学習
	12 菊地喜美子	フリーアナウンサー、 こどもアナウンス発声協会講師	コミュニケーション 言葉の表現
	13 須藤 好子	元養護教諭、一般社団法人日本アンガーマネジメント協会 認定 アンガーマネジメントコンサルタント、アンガーマネジ メントチーフファシリテーター、アンガーマネジメント叱り 方トレーナー、アンガーマネジメントハラスメント防止アド バイザー	アンガーマネジメント
最 上	1 阿部 彰	パリス保育園長	子どもの教育全般
	2 佐藤 成美	家庭教育応援・ボランティア活動団体「アベルんち」代表	不登校 障がい児に対する支援 読み聞かせ
	3 伊藤 淳子	特定非営利活動法人 さきがけ友遊クラブ クラブマネ ジャー	健康づくり・レクリエーション
	4 沼澤 直人	最上広域交流センターゆめりあ館長、 元小学校長	学校教育 社会教育 体験活動
置 賜	1 黒田 三佳	人材育成アカデミーローズレーン 代表、 里山ソムリエ®	家庭教育全般
	2 高橋まゆみ	エッセイスト、 元南陽市教育委員会教育委員長	家庭教育全般
	3 小野 卓也	三峯山洞松寺住職、 人権擁護委員、保護司	家庭教育全般
	4 高瀬 尚美	長井市家庭的保育ルーム ひよっこ 主任保育士、 川西お話し会「きらきら」元会員	読み聞かせ 子育て支援(幼児教育)
	5 小松ひろみ	元養護教諭、 長井市教育相談員	生活リズム 心の健康
庄 内	1 齋藤 雅志	山形県体操協会会長、 前山形県国公立幼稚園会長	家庭教育全般 幼児・小学生
	2 後藤 敬子	ごっと助産院院長	命の誕生 思春期 性教育 生き方教育
	3 金子 健	個別支援教室ここ代表	特別支援教育(発達障がい) 子育て支援
	4 丹治 亜香音	特定非営利活動法人 明日のたね 代表理事、 山形県教育委員	子育て支援 自然体験活動
	5 歌川 裕	SR会副代表、 東北公益文科大学 非常勤講師	家庭教育全般(小学生・中学生・子育て)

えんどう

まさあき

山形県家庭教育アドバイザー（村山地区）

遠藤 正明氏（山形市在住）

《専門領域：家庭教育全般》

【プロフィール】

山形市山寺地区で商店を経営する傍ら、地元小学校のPTA活動に長く携わり、保護者と地域の結びつきを大切にしたい取り組みで学校を支えてきました。

平成18年から4年間、山形県PTA連合会の会長として保護者の意識調査などを実施し、家庭教育の大切さを提言しました。また、社団法人日本PTA全国協議会の副会長として、全国でも活躍しました。

長年のPTA活動の中で学校・地域に関わってきた経験をもとに、子どもたちへの情熱あふれる思いを、ユーモアを交えてエネルギーに語る姿が、聞く者に勇気を与えてくれます。



【主な講演内容】

対 象	演 題	開催市町
中学生の保護者	親としてどう子どもと関わっていくか	大石田町
高校生の保護者	子どもの悩みと向き合う活力あるPTA活動	山形市
小学生の保護者	子どもをやる気にさせる親の関わり	河北町
小学生の保護者	キラリと光る宮川地区	上山市
中学生の保護者	保護者としての子どもとの関わり方	寒河江市
町連合PTA	PTAの魅力 たっぷり語ります	大江町
中学生の保護者	親の心得	山形市

はたなか

まさのり

山形県家庭教育アドバイザー（村山地区）

畑中 昌則氏（山形市在住）

《専門領域：しつけ・孫育て》

【プロフィール】

山形市西崎で看板制作会社を経営する傍ら、山形県マジック協会の会長として、学校や乳幼児施設、高齢者施設等でマジック&トークショーに取り組んでいます。

また、県教育委員会が主催する中高生を対象にした「ボランティアセミナー」では、長年実技講師を務め、マジックのみでなくボランティアの考え方やコミュニケーションの大切さについて子どもたちに伝えました。

ユーモアたっぷりのマジックを織り交ぜながら、子育てのポイントや子どもとのかかわり方を、温かいメッセージとともにお話ししています。



（Mr. はてな）



【主な講演・活動内容】

対 象	演題・活動内容	開催市町
園児と保護者・祖父母	畑中先生のマジックショー・孫育て講座	西川町 尾花沢市
園児と保護者	親子で楽しむ保育園まつり	村山市
園児と保護者	親子ふれあい活動／子育てを楽しもう	河北町
小学生の保護者	子育てはたのしくよ	朝日町
園児と保護者	保育所「マジックショー」（親子参加型） 講師	寒河江市
園児と保護者	幼稚園 子育て講演会 講師	山辺町
青年会議所会員	「趣味と笑いとやる気を」 講師	村山市

わたなべ

ゆうこ

渡邊 裕子氏 (山形市在住)

山形県家庭教育アドバイザー (村山地区)

《専門領域：読み聞かせ・わらべうた・幼児共育》

【プロフィール】

長年、保育士として保育園、子育て支援の現場で活躍。また、紙ふうせんの会の代表として、山形市を中心に活動しており、県内各地で読み聞かせ・わらべうたの講師としても活躍中です。温かな語り口と子どもたちの心に寄り添ったお話は、参加者から大好評です。

幼児期の子どもたちへの寄り添い方や、親子でできるわらべうた、読み聞かせにふさわしい環境づくり等について、これまでの実践をもとに具体的にお話しています。



【主な講演・活動内容】

対 象	演題・活動内容	開催市町
中学生の保護者	子育ては、いつまでたっても1年生	上山市
小学生と保護者	親子読み聞かせとミニ講話「絵本は心の栄養剤」	尾花沢市
小学生の保護者	親子の真ん中に絵本を！	中山町
乳幼児と保護者	親子で読み聞かせ体験 ～わらべうたと絵本を楽しもう～	河北町
園児の保護者	笑顔が生まれる絵本タイム	寒河江市
園児の保護者	人とふれあう喜び、人の声のぬくもりが心の栄養剤	東根市
読み聞かせ活動関係者等	読育推進ネットワーク研修会「こころを育み こころをつなぐ みんなで読育」	天童市
家庭教育関係者等	家庭教育支援フォーラム「子どもを育てる大人の個性」 事例提供「読育による家庭教育支援」	寒河江市

いとう

ゆうこ

伊藤 洋子氏 (山形市在住)

山形県家庭教育アドバイザー (村山地区)

《専門領域：臨床心理》

【プロフィール】

山形県公認心理師・臨床心理士協会では、会長を務められ、発達段階に応じた幅広い年齢層の保護者の相談に応じています。また、山形県スクールカウンセラーとして、小学校から高等学校まで、幅広く相談業務をしています。山形大学地域教育文化学部の客員准教授として学生に指導するなど、多方面で活躍中です。

わかりやすい映像資料と豊富な事例を交えての講演が好評で、各方面より講演依頼が多数寄せられています。



【主な講演・活動内容】

対 象	演題・活動内容	開催市町
小学生の保護者	子どもの自尊感情を高める親の関わり	山形市 上山市 白鷹町
小学生の保護者	一人ひとりが輝ける社会を目指して～発達に偏りがある児童への気づきと支援～	寒河江市
中学生とその保護者	ネット依存について	山形市 天童市
中学生とその保護者	レジリエンスを高めよう	山形市 寒河江市 西川町
中学生とその保護者	思春期のこころ	山形市 天童市
幼稚園・保育所・こども園の教職員	保護者との信頼関係づくり	山形市他
小・中学校、高校の教員	不登校について、自傷・自死予防について	山形市他
家族会関係者等	子どもの心に寄り添う	大江町

二瓶 明美 氏（天童市在住）

《専門領域：家庭教育全般・特別支援教育・親子ふれあい活動》

【プロフィール】

武蔵野音楽大学短期大学部で声楽を、放送大学と山形大学大学院教育学研究科で発達と教育について専攻し、現在は、日本音楽療法学会認定音楽療法士、日本タッチケア協会認定指導員などの資格を持ち、山形県立中央病院 NICU-GCU・小児科音楽療法士、にこにこ音楽子育て支援の会会長などを務めています。

『あなたの好きな歌はなあに？音楽療法士がおくる楽しいうた絵本』や『小1プロブレムを防ぐ保育活動』（共著）、『知的障害・発達障害の教材・教具117』（共著）などの著作があり、全国で音楽、福祉、教育などの分野で講演・演奏活動、親子ふれあい活動を行うなど多方面において活躍しています。



【主な講演・活動内容】

対 象	演題・活動内容	開催市町
園児と保護者	親子で音楽遊び	河北町
園児と保護者	冬を楽しむ音楽会	村山市
保護者	子育て親子のふれあい ～家庭の中に音楽を～	大石田町
家庭教育関係者等	家庭教育支援フォーラム「子どもを育てる大人の個性」事例提供「音楽による家庭教育支援」	寒河江市
園児と保護者	クリスマス音楽会	村山市

や ぐ ち

ゆ り

矢口 友理 氏（河北町在住）

《専門領域：食育・スポーツ栄養学》

【プロフィール】

山形大学地域教育文化学部では生活習慣や食習慣と疾病発症との関わりやスポーツ選手の栄養マネジメントを専門に研究しています。

大学で教鞭を執る傍ら、山形県内では数少ない公認スポーツ栄養士として、スポーツ少年団関係者の研修会等の講演活動やスポーツ選手の栄養サポートも行っています。

子どもの心身の発達と食事の関係性や、親子で食事をとったり料理をしたりする教育的効果について、豊富な事例と科学的な根拠に基づいた適切なアドバイスをしています。



【主な講演・活動内容】

対 象	演題・活動内容	開催市町
小学生の保護者	食と健康・学力	寒河江市
小学生の保護者	食と健康・学力	尾花沢市
養成講習会受講者	スポーツ少年団認定員養成講習会 講師	山形市
家庭教育関係者等	家庭教育支援フォーラム「子どもを育てる大人の個性」 事例提供「食育による家庭教育支援」	寒河江市
園児の保護者	家庭における食育	山辺町

む ら や ま け い こ
村山 恵子氏（東根市在住）

《専門領域：育児支援・幼児共育・遊育》

【プロフィール】

東根市の子育て支援施設「さくらんぼタントクルセンター」と「ひがしねあそびあランド」を運営しているNPO法人「クリエイトひがしね」において事務局長を務め、育児相談や子育て講座の企画など、子育て中の親に対する支援に取り組んでいます。また、昨年からは市内小学校で心の教育相談員として、子どもと保護者の相談に応じています。子どもにとっての最善の利益を追求するために、子ども自らが遊びを通して主体性や創造性、社会性を育む「遊育」と地域ぐるみで子どもを共に育てる「共育」の実践を通して、豊かな地域社会の再生をめざし、活動展開しています。



【主な講演・活動内容】

対 象	演題・活動内容	開催市町
保育施設・小学校の保護者	子どもの育ちをまんやかに～子ども・保護者・教員の幸せのために～	村山市
入学前（小学校）の子の保護者	小学校就学前後の子どもとのかかわり方	寒河江市
こども園指導者	子どもの育ちと遊びの大切さ～子どもにとって最善の利益を考える～	天童市
保育施設等保護者	これからの子育てを考える～子どもも大人も幸せに過ごすために～	山辺町
退職公務員連盟会員	心の根っこは遊びで育つ 子どもの育ちを支える環境づくり	東根市
支援センター利用者	イヤイヤ期との向き合い方～親子がHappyな気持ちで過ごせるために～	東根市

さ さ は ら え い こ
笹原 英子氏（東根市在住）

《専門領域：子育て相談・家庭教育全般》

【プロフィール】

長年小学校教諭として勤務し、学級づくりや教育相談に関する実践を重ねてきました。現在は、保育園・小・中学校のスクールカウンセラーや発達に関わる相談員を務めています。

働く親、教員、そしてカウンセラーとしての体験をふまえ、心理学的な視点から、子どもの自立心・やる気を伸ばす大人のあり方について分かりやすくお話しします。

「明るく楽しく子どもと向き合うコツをつかんで、元気になれる講演活動」を信条としています。



【主な講演内容】

対 象	内 容	開催市町
保育園保護者・小学校保護者	にこにこ親子のポジティブコミュニケーション 心に寄り添う言葉かけ	舟形町 鮭川町 左沢町
小学校児童・保護者	みんなのいのちのおはなし	尾花沢市
小学校保護者	思春期の入口の子どもたちへの接し方～メディアコントロールに関わって～	新庄市
小学校保護者・保健委員会	心もからだも健康に ～寝る子は育つ～	東根市
就学児をもつ保護者	就学前後の子どもとのかかわり方・自立的な子どもを育てる親の関わり	河北町 寒河江市
小・中学校保護者・母親委員会	自立的な子どもを育てる親の関わり・「勇気づけ」の子育て	村山市 最上町 金山町
学童保育所指導員・	子どもの自尊心や やる気を育てる関わり	寒河江市
小学生とその保護者	コミュニケーションゲームでもっとなかよく	天童市（県青年の家）
小学校保護者	子どもの自尊心を育む勇気づけの子育て	真室川町 山形市

おおぬま ち え

山形県家庭教育アドバイザー（村山地区）

大沼 千絵 氏（山形市在住）

《専門領域：教育相談・家庭教育全般》

【プロフィール】

長年小学校教諭として勤務し、それぞれの学校現場で多くの児童や教員仲間と向き合い支援してきました。

教育相談を長く学ぶ中で、特に「解決志向ブリーフセラピー」との出会いにより、前向きで未来志向の相談活動を数多く実践してきました。また、不登校の児童や保護者との関わりも多く経験してきました。

退職後は、山形県教育相談員として中学校に勤務しながら、小中学校で児童理解や関わり作り等の研修会で講師を務めています。

現在は、山形県スクールカウンセラーとして、中学校での教育相談支援活動を行っています。



【主な講演・活動内容】

対 象	演題・活動内容	開催市町
登校への悩みを考える親の集い	子どもの心に寄り添う	山形市
中学校就学時の保護者	中学生の親として	西川町
就学児童の保護者	子育て講座 小学校で子育てを楽しむために	川西町
就学児童の保護者	「自立する子」に育つ親と子のかかわり	寒河江市 西川町
小・中学校の教員	学級作り講座 望ましい人間関係を築く集団作り	山形市 天童市 河北町 東根市
幼児（就園前）と保護者	ゆったり・ゆっくり子育て講座 わが子のリソースさがし	中山町
幼児（就園前）と保護者	子育てを楽しんじゃおう！	中山町

すずき り え こ

山形県家庭教育アドバイザー（村山地区）

鈴木 理枝子 氏（山形市在住）

《専門領域：家庭教育全般・教育相談》

【プロフィール】

長年小学校教諭として子どもの成長に携わり、山形大学附属幼稚園長、公立小学校長を務めました。また、その間日本教育相談学会に所属し、教育相談・カウンセリングなどを学び「学校心理士」「ガイダンスカウンセラー」の資格も取得しました。

幼稚園長、小学校教諭の経験とアドラー心理学の「勇気づけ」の考え方を中心に、これからの時代を生き抜くための大切な「心の力を育む親の関わり方」「やる気を引き出すコミュニケーション」などについて演習を通してわかりやすくお話ししています。



【主な講演内容】

対 象	演 題	開催市町
園児の保護者	子どもは十人十色 ～成長を支える大切な親のかかわり方～	山形市
就学児の保護者	勇気づけで楽しく子育て ～心を元気に 体を元気に～	寒河江市・山形市
小・中学生の保護者	困り感を持つ子どもの支援	山形市
幼保小連携関係者	「幼・保・小をつなぐ」支援のあり方	米沢市
園児の保護者	親も子どもも生き生き元氣 ～子どもの健やかな成長を願って～	山形市
小学生の保護者	親子のコミュニケーションを活用した SNS との上手な付き合い方	天童市
小学生の保護者	子どもの能力（チカラ）を伸ばす親のかかわり方	河北町
小学生の保護者	親子で話そう「ゲーム・SNS との付き合い方」	朝日町・大石田町

土屋 常義 氏（村山市在住）

《専門領域：家庭・地域教育全般・自然体験学習》

【プロフィール】

長年、小学校長として学校経営にかかわった経験から、「子育て」や「親育ち」に加え、学校や企業の「人材育成」について熱く語る姿は、聞く方々に関わり方のヒントや勇気を与えてくれます。

山形県朝日少年自然の家在所長時代は、自然の中での体験活動の大切さ、その体験を介した「親子共育」や「感動共有」についても強く発信しました。

現在は村山市の認定こども園長、及び隣接の東根市内 NPO 法人の理事なども務め、子育て世代の方々と直接かかわりながら、「周囲の大人にできること」について発信しています。

社会教育主事の資格も有し、家庭教育から地域教育、自然体験学習まで幅広い対応が可能なアドバイザーです。



【主な講演・活動内容】

対 象	演題・活動内容	開催市町
幼稚園教諭・保育士等研修会	幼児期における自然体験の重要性 ～成長は想定外の出来事から～	村山地区 尾花沢市
職場管理者研修会（一般）	同僚や部下の自己肯定感を高めるために ～今の自分にできること～	河北町
「ファミリーサポ」会員研修会	子どもの自己肯定感を高めるために ～周囲の大人にできること～ 「共育応援団」 共に学び 共に笑い 共に育ち合う	米沢市 山形市
青少年健全育成市民（町民）会議		天童市 山辺町
幼稚園・こども園保護者研修会		寒河江市 西川町
小学校保護者研修会 (小学校母親研修会)		河北町 村山市 東根市 尾花沢市 大石田町 新庄市

菊地 喜美子 氏（山形市在住）

《専門領域：コミュニケーション・言葉の表現》

【プロフィール】

天童市出身で大学を卒業後、NHK 山形放送局でリポーターとして県内を駆け回り、その後、東京でフリーアナウンサーとして活動を開始しました。現在は山形をはじめ、東北各地でテレビやラジオ、イベントの司会等、現役アナウンサーとして活動をしています。

全国のアナウンサーが声を出すことの楽しさを伝える「こどもアナウンス発声協会」の会員であり、山形県内では唯一の講師です。2015 年から子ども向け話し方講座をスタート。現在では、言葉に特化した「山形まる語学校」を開校。子どもから大人まで伝えたい人に伝わる言葉の選び方や使い方を広めています。

現役アナウンサー、小学校勤務の経験を活かし、発声、早口言葉、「発表音読」、ニュース・リポーター体験、モニター、カード、絵本など、言葉によるコミュニケーションを楽しむ体験を実感できる講座を実施しています。言葉は自分も周りも幸せにする贈り物。言葉で「心がまあるくなるコミュニケーション」活動を展開しています。



【主な講演内容】

対 象	演 題	開催市町
小学生と保護者	親子が笑顔になる魔法の言葉	山形市
教育関係者	実践！今すぐできる！伝わるコミュニケーション術！	天童市
保育士	認め合える言葉の楽しみ方	天童市
幼児と保護者	自分の気持ちを伝える楽しさ！伝わる楽しさ！	山形市
小学生の保護者	心がまあるくなる言葉♪	山形市他

す と う よ し こ

須藤 好子氏 (天童市在住)

山形県家庭教育アドバイザー (村山地区)

《専門領域：アンガーマネジメント》

【プロフィール】

長年に渡り養護教諭として、小中学校で子どもたちを指導するとともに、多くの児童や教職員と向き合い、教育相談等で支援してきました。退職後、円滑な人間関係を構築するための関わり方を伝える必要性を感じ、一般社団法人日本アンガーマネジメント協会の「アンガーマネジメントコンサルタント・アンガーマネジメントチーフファシリテーター・アンガーマネジメント叱り方トレーナー・アンガーマネジメントハラスメント防止アドバイザー」の資格を取得しました。

現在は、教育現場だけにとどまらず、企業・団体における研修会や講演会での講師を務めています。具体的な場面や演習を用いながら、参加者の気持ちに寄り添ってわかりやすくお話ししています。豊富な事例や経験をもとに、怒りの感情との付き合い方、思いの伝え方をアドバイスしています。



【主な講演内容】

対 象	演 題	開催市町
保護者	すべての人に届けたいアンガーマネジメント～子育てを楽しく～	鶴岡市・村山市他
企業団体	ハラスメントを起こさない組織	山辺町・寒河江市他
PTA 連合会・PTA 連絡協議会	いじめ防止に活かすアンガーマネジメント	舟形町・天童市
山形県学童保育連絡協議会	アンガーマネジメントで学ぶ思いが伝わる叱り方	天童市
青少年健全育成町民大会	今日からできるアンガーマネジメント	朝日町
教職員	教育に活かすアンガーマネジメント・職員のストレスマネジメント	山形市・天童市他

あ べ あきら

阿部 彰氏 (新庄市在住)

山形県家庭教育アドバイザー (最上地区)

《専門領域：子どもの教育全般》

【プロフィール】

社会福祉法人みらい「パリス保育園」園長。園においては、乳児期に育まれる人との愛着関係を基盤に、自ら考え判断する力や意欲、物事に粘り強く取り組む力が培われるという信念で豊かな環境づくりを実施しています。

子育てについて、つい考えすぎてしまうという家庭に対して「気負わず、決して負担に思わない。子育てを通して、大人も学び成長していこう。」と力強くメッセージを送ります。

これまでの実践や経験をもとに、子育て全般についてアドバイスをを行っています。



【主な講演内容】

対 象	演 題	開催市町村
小学生の保護者	小学1年生のうちに身につけさせたい生活習慣	戸沢村
事業所の従業員	思春期の子どもへのかかわり方 ～ゲーム・ネットとうまく付き合うためには～	新庄市
保育園児の保護者	子どもの根っこを育てる	大蔵村
小学校の保護者・教職員	発達段階に応じた子育てのコツ	最上町
小学生・保護者	親と子のかかわり	鮭川村

さ とう なる み
佐藤 成美氏 (新庄市在住)

山形県家庭教育アドバイザー (最上地区)

《専門領域：不登校・障がい児・読み聞かせ》

【プロフィール】

特別支援学校の講師、障がい児放課後デイサービス支援員としての勤務経験があります。読み聞かせサークルにも所属し、日頃から様々な場での読み聞かせ活動に取り組んでいます。長年「つながり - 出会い - 発見」をキーワードにして「家庭教育応援ボランティア活動団体・アベルんち」の代表として、仲間とともに楽しく活動してきました。

不登校や発達障がい等課題をもつ子どもの理解と接し方に加え、これまでの実践をもとに具体例をあげて講演を行っています。また、「リースの会」「イマール」など、親との語りの場づくりや居場所づくり、研修会などを開催しています。

【主な講演内容】

対 象	演 題	開催市町村
小学生の保護者	就学前後の子どもへのかかわり方	金山町
小学生の保護者・祖父母	みんなで子育て 孫育て ～わたしの経験・困りごとについてみんなで話し合おう～	新庄市
事業所の従業員	「子育てをしながら働く」を考える ～仕事と育児の両立のために～	舟形町
小学生の保護者・教職員	みんなで子育て ～子どもに響く言葉かけ～	天童市
事業所の従業員	発達障がいがある子どもへの理解と家庭でのかかわり	最上町



い とう じゅんこ
伊藤 淳子氏 (鮭川村在住)

山形県家庭教育アドバイザー (最上地区)

《専門領域：健康づくり・レクリエーション》

【プロフィール】

鮭川村の総合型地域スポーツクラブ、「特定非営利活動法人さけがわ友遊クラブ」において、クラブマネジャーを務め、エアロビクス、ダンス、介護予防教室、ヨガ、キッズ体操、ノルディックウォーキングなどの指導に取り組んでいます。それまでも、様々なスポーツクラブでインストラクターとして勤務されました。

モットーは、『楽しく』『自分が楽しめなければお客さんも楽しめない』人は十人十色であり、同じ人はいないことを念頭に置きながら、その特性や特徴に合わせた指導を心がけています。

【主な講演内容】

対 象	演 題	開催市町
幼児とその祖父母	ふれあい体操 (幼児共育ふれあい広場)	大蔵村
幼児とその保護者	親子でふれあいまねっこヨガ (幼児共育ふれあい広場)	新庄市
幼児とその保護者	アクティブ・チャイルド・プログラム	鮭川村
40代～70代の方	介護予防教室	鮭川村
40代～70代の方	エクササイズ教室	鮭川村
幼稚園教諭	子どもの発育に合わせた体操など	尾花沢市・新庄市



ぬまざわ なおと
沼澤 直人氏 (新庄市在住)

山形県家庭教育アドバイザー (最上地区)

《専門領域：学校教育・社会教育・体験活動》

【プロフィール】

令和6年3月 最上町立大堀小学校を校長で退職

令和6年5月 山形県神室少年自然の家研修担当

令和7年4月 家庭教育アドバイザー

長年、学校教育と社会教育の融合を研究してきました。学校教育では、現代の子供たちに本当に必要な“生きる力”とは何なのかをテーマとして学校経営を実践してきました。社会教育では主に体験学習法を研究し、大人と子どもの社会力育成を目指して様々な取り組みをしてきました。

平成20年度から新庄市子ども芸術学校実行委員、令和6年度から実行委員長を務めています。

また夏場は、最上地区サッカー協会のシニアチームに所属し、技術委員を務めながら現役プレイヤーを続けており、冬場は赤倉温泉スキー場スキースクールのインストラクターを務めています。



【主な講演内容】

対 象	演 題	開催市町
幼稚園、保育園等職員	子どもの社会力と自立した学び手の育成	最上町
幼児の保護者	子どもたちの思考を体験しよう～子どもたちにつけたい本当の力とは～	最上町
社会教育施設職員	体験学習法の理解～ウェルビーイングの向上を目指して～	真室川町

くろだ みか

山形県家庭教育アドバイザー (置賜地区)

黒田 三佳氏 (米沢市在住)

《専門領域：家庭教育全般》

【プロフィール】

北欧デンマークで暮らした後、旅で訪れた米沢に魅せられ家族で移住し、里山でヤギを飼い、子育てを経験。人材育成アカデミー「ローズレーン」を立ち上げ、民間企業や行政の人材育成に携わっています。また、自宅に続く1000坪以上の森を自ら整備開放し「森のようちえん」の活動や里山での英語教育も行っています。平成23年度からは県家庭教育アドバイザーとして、新しい時代に向けた「山形の子育てのすばらしさ」を伝え、将来のキャリアを輝かせるマナーやコミュニケーションなどの研修や講演を行っています。また、大学や高校での教育に携わり、米沢市国際交流協会会長も務めています。

＜元（株）日本航空国際線客室乗務員 東京都出身 里山ソムリエ＞



【主な講演内容】

対 象	演 題	開催市町等
就学前児童保護者	子どもたちのよりよい生活のために	米沢市
就学前児童保護者	大切な児童期とそこにある素敵なこと	高畠町
就学前児童保護者	これからの時代を創る子どもたち～共に未来を輝かせよう～	長井市
就学前児童・小学生保護者	「グローカル」な子どもを育てる	南陽市
小学校保護者・地域の方	古（いにしえ）と未来をつなぐ子どもたち	高畠町
こども園児保護者	笑顔が生まれる素敵なマナー	白鷹町

高橋 まゆみ氏（南陽市在住）

《専門領域：家庭教育全般》

【プロフィール】

NHK 山形放送局でニュース番組などを担当した後、現在はフリーアナウンサー、エッセイストとして活躍しています。また、料理教室主宰（食育・薬膳コーディネーター）として食文化を発信。平成24年度からは県家庭教育アドバイザーとして「言葉の力」「話し方」「食の力」「おもてなしの心を育む日本のマナー」等のテーマで講演を行っています。親子の愛情を基盤とし、季節を楽しむ工夫や日常における心遣いのヒント等を交え、気持ちに潤いが生まれ元気になれるような講座・研修会を心がけています。

＜元南陽市教育委員長＞

【主な講演内容】

対 象	演 題	開催市町等
就学前児童保護者	就学時健診・子育て講座	白鷹町・南陽市
小学校保護者	さまざまなことを知りたい 豊かな毎日のために ～明日は誰にもわからない。だから人は夢を見る～	長井市
企業団体	伝わる言葉と暮らし～ <i>Kotoba-to-Karashi</i> ～	米沢市
就学前児童保護者	だいじょうぶ だいじょうぶ ― 子どもの心に寄り添って ―	米沢市・飯豊町
就学前児童保護者	豊かな言葉とやさしい心を育てるために	米沢市・飯豊町・長井市
幼児・児童と保護者	絵本 de カフェ ― 絵本の中のレシピを作ってみよう ―	米沢市・長井市・南陽市



小野 卓也氏（長井市在住）

《専門領域：家庭教育全般》

【プロフィール】

1998年、24歳で長井市草岡の洞松寺第33代住職に就き、2001年から2009年までは家族で茨城県に住みながら同寺に通っていました。その後、子どもの小学校入学を機にふるさと長井へ居を移し、妻が単身赴任の中、「主夫」として3人の子育てをしてきました。

「仏の教え」に基づいた、心の健康やストレス解消等をテーマにした講演会や家族一緒に楽しい時間を過ごすコミュニケーションツールとして世界のボードゲームを実際に遊ぶ体験会を県内各地で開催しています。米沢女子短大非常勤講師、人権擁護委員、保護司、ボードゲームジャーナリストなども務め、男女共同参画社会づくりにも尽力しております。

【主な講演内容】

対 象	演 題	開催市町等
保育園保護者	幼児の発達と睡眠について	長井市
小学生保護者	メディアとうまく付き合う方法	米沢市
就学前児童保護者	小学校入学を前に心がけたいこと - 早寝、メディア、会話 -	川西町・小国町
就学前児童保護者	幼児期から児童期にかけての親のかかわり方	米沢市
園児とその保護者	親子で楽しむボードゲーム	白鷹町
企業団体	これからの働きやすさを考えよう	南陽市



たかせ

なおみ

山形県家庭教育アドバイザー（置賜地区）

高瀬 尚美氏（川西町在住）

《専門領域：読み聞かせ・子育て支援》

【プロフィール】

川西町出身。長井市の白ゆり保育園、川西町小松保育所勤務を経て現在は長井市家庭的保育ルーム ひよっこ の主任保育士として勤務しています。

川西お話し会「きらきら」に所属し、メンバーの一員として長年活動してきました。その経験をもとに、多くの学校や幼稚園を回りながら本の世界の魅力を伝える活動を続けています。

私自身の子育ての経験をもとに、絵本の読み聞かせやふれあい遊びなど親子で一緒に楽しむ活動などを取り入れ、親子の関わりや家庭の大切さについて、柔らかく、温かな口調での講演を心がけています。

プライベートでは、ゴスペルや水道管の笛（みずみちのふえ）で曲を奏でるサークルにも所属し、アクティブに活動しています。



【主な講演内容】

対 象	演 題	開催市町等
家庭教育支援者・小学生保護者・就学児童保護者	読み聞かせで育つ子どもの心	小国町・米沢市・川西町
就学前児童保護者	絵本と子育て	川西町
保育園保育士	絵本の楽しみ方	南陽市
幼児・小学生保護者	子どものふしぎ心を育む読み聞かせ	山形県
就学前児童保護者	入学を前にして～今大切にしたいこと～	川西町

こまつ

山形県家庭教育アドバイザー（置賜地区）

小松ひろみ氏（長井市在住）

《専門領域：生活リズム・心の健康》

【プロフィール】

長年に渡り養護教諭として、小中学校で指導してきました。全校朝会時に子どもと一緒に劇を行い、悩みの解消法を伝えるなど心の健康づくりに努めてきました。現在は、長井市の教育相談員を務めています。

生活リズムを整えることの大切さとともに、心の健康についてもお話しています。

学校現場での豊かな経験を生かし、児童生徒一人ひとりによりそったサポートや、保護者も子どもも心が元気になるような講座や研修会を心がけています。



【主な講演内容】

対 象	演 題	開催市町
就学前児童保護者	家庭における子育てについて～子どもの育ちを支援して～	飯豊町・長井市・川西町・白鷹町
小学生・保護者	親子の関わりと心の健康 ～ゲームや生活リズム～	白鷹町
子ども園保護者	生活リズムづくりと心の健康 ～親子で見直す生活習慣～	飯豊町・南陽市
小学校保護者	コミュニケーションと心の健康～親子の関わりについて～	村山市・白鷹町
中学校保護者	コミュニケーションと思春期の心の健康について	寒河江市・長井市・南陽市

さいとう まさし

山形県家庭教育アドバイザー（庄内地区）

齋藤 雅志 氏（庄内町在住）

《専門領域：家庭教育全般（幼児・小学生）》

【プロフィール】

平成24年3月庄内町立立川小学校を校長で退職

平成24年4月から山形県家庭教育アドバイザー

平成30年3月まで三川町立みかわ保育園・幼稚園園長

幼・小連携の接続プログラムの開発や幼児期から児童期にかけての発達課題・子育て支援について研究しています。また、社会体育としてのスポーツ活動の普及にも取り組み、小中学生や一般社会人を対象とした体力づくり教室、立川体操スポーツ少年団の指導や小学校の器械運動指導も行っています。今、課題になっている「いじめ・体罰」防止策にも取り組んでいます。社会教育担当者や高齢者を対象にした生涯学習全般の支援にもあたっています。

前山形県国公立幼稚園会会長、山形県スポーツ少年団副本部長、スタートコーチ(スポーツ少年団)インストラクター、山形県体操協会会長、庄内町学校運営協議会委員、社会教育主事有資格。平成29年度、山形県「子どもの生活習慣に関する指針(やまがた子育て5か条)」の策定委員を務めました。

※著書：「三川版保・幼・小接続カリキュラムの実践」「エッセイ集：出会い・触れ合い・支え合い 朝のさわやか歳時記」

【主な講演内容】

対 象	演 題	開催市町
乳幼児を持つ保護者	今、大切にしたい子どもの生活習慣 ～やまがた子育て5か条を親子で実践～	庄内町
小学生を持つ保護者	親子で楽しくトランポリン ～賢い子に育つ生活習慣～	庄内町
事業所の会員	未来をたくましく生き抜く子どもを育てる	酒田市
保育園・幼稚園・小学校教員	保幼小の接続期における教育の充実	酒田市
新入学児童保護者	就学へ向け、小学校への期待を膨らませて (就学時健診)	鶴岡市
小学児童及び保護者	脳が喜ぶ生活習慣・運動習慣 (学校保健委員会)	鶴岡市

ごとう けいこ

山形県家庭教育アドバイザー（庄内地区）

後藤 敬子 氏（酒田市在住）

《専門領域：命の誕生・思春期・性教育・生き方教育》

【プロフィール】

公立病院と行政で助産師、看護師として勤務。酒田市健康課子育て世代包括支援センター「ぎゅっと」に勤務し退職。令和2年に「ごっと助産院」を開設し院長として活動中。助産師・思春期保健相談士としての経験をもとに命や家族、生きることの大切さを伝えるべく、生徒世代から幅広い世代の方への講演活動を行っています。思春期教室から始まった命との関わり…。中高生や親たちの相談に耳を傾けながら、次世代を担う子どもたちと各世代の親たちの幸せを願い「命の尊さ、生きる力の大切さ」を伝えていきたいと思っています。

平成18年から庄内日報「ごっとさん、どうしよう…」を連載

平成19年に第29回母子保健奨励賞・毎日新聞社賞受賞 現在の天皇・皇后両陛下からお言葉を賜る

平成20年に「ごっとさん、どうしよう… ～思春期をめぐるSOS～」を出版

平成25年から山形県家庭教育アドバイザー就任

平成29年から酒田市広報に「大切な人へ」を連載

【主な講演内容】

対 象	演 題	開催市町
小・中・高校生	思春期の心と身体・自分を大切に…輝く命のメッセージ ・男女交際について・命の誕生と尊さ・デートDV・LGBTQ 等	庄内地域の諸学校 県内全域学校
小・中・高校生の保護者	就学児のおうちの方へ・思春期の子どもとの関わり方 ・子育ての不安と悩みに答えて	同上
保育園児保護者・妊産婦	乳幼児期に大切な心の栄養剤・0歳からの性教育	同上



かね こ

たけし

山形県家庭教育アドバイザー（庄内地区）

金子 健 氏（鶴岡市在住）

《専門領域：特別支援教育（発達障がい）・子育て支援》

【プロフィール】

平成30年3月鶴岡市立朝陽第四小学校退職

平成30年5月「個別支援教室ここ」設立

日本LD学会会員

日本ペアレント・トレーニング研究会会員

特別支援学校や小学校の特別支援学級、通級指導教室等、発達障がいに
関わる多くの実践を積んできました。

発達に凸凹があるお子さんへの学習支援、よりよい友だち関係を作る
練習を幼児・小中学生対象に行っています。保育園に定期的に訪問して、
園児への対応の仕方について保育指導員研修を行っています。

また、発達に凸凹がある子に寄り添い、親としてどうかかわるか、周りのおとなはどう接したらよいか
などについて発信しています。



【主な講演内容】

対 象	演 題	開催市町
子育て中の保護者	「ペアレント・トレーニング」とは	鶴岡市
小学校保護者	子どもを傷つけない対応～子どもをほめるための方法～	鶴岡市
新1年生保護者	発達に凸凹があるお子さんについて～親としてできることは～	鶴岡市
保育園保護者	対応例から学ぶ適切な子どもへの声掛け	鶴岡市
小中学校教員	発達に課題のある児童・生徒へのソーシャルスキルトレーニング	鶴岡市

たん じ

あ か ね

山形県家庭教育アドバイザー（庄内地区）

丹治 亜香音 氏（鶴岡市在住）

《専門領域：子育て支援・自然体験活動》

【プロフィール】

短大を卒業後、鶴岡のスポーツクラブのスイミングインストラクターとして勤務。その後、民間企業で働いたのち、転職した子育て支援の職場で一緒に働いていた3人で任意団体として「明日のたね」を立ち上げ、平成26年に法人化しました。令和4年から代表理事を務めています。

令和5年10月から県教育委員を務め、第7次山形県教育振興計画の策定に携わりました。

子育て支援センターを運営し、子育て中の親と子ども、庄内地域に暮らす高齢者の人たちがいつでも立ち寄れる「居場所づくり」をしています。さらに、「地域のいろいろな人＝第3の大人」として子育てを楽しみ、見守り、支える機会をつくっています。

小学生の長期休みの預かり事業「こども大学（楽）」や、幼児とその親を対象とした自然体験活動を行い、子どもの遊びと育ちを守ります。子育てはチームで行います。ひとりじゃない。地域とみんなの力で支えます。「おたがいさま」と「おかげさま」で寄り添い、ともに育ちあっていきましょう。



【主な講演内容】

対 象	演 題	開催市町
未就学児親子	ママとこどもの防災講座	庄内地域
小学生・幼児	自然体験活動・ネイチャーゲーム指導	庄内地域
家庭教育支援団体	地域全体で子どもや子育て家庭を見守り育てることができたなら…（団体活動紹介）	庄内地域

歌川 裕 氏（酒田市在住）

《専門領域：家庭教育全般（小学生・中学生・子育て）》

【プロフィール】

昭和57年4月 山形県立鶴岡西高等学校（現鶴岡中央高校）で教員

生活をスタート

昭和62年4月 酒田市立第六中学校教諭

平成12年4月 山形県教育庁庄内教育事務所指導課指導主事

平成15年4月 酒田市立第四中学校教頭

平成30年1月 子どもの自立を目指し、子育てに悩んでいる保護者の支援を目的にSR会を設立（現在副代表）

平成30年3月 遊佐町立高瀬小学校を校長で退職

平成30年4月 遊佐町教育委員会社会教育課社会教育アドバイザー

令和5年4月 東北公益文科大学非常勤講師

子どもの自立を考える会「SR会（山形県唯一の文部科学省家庭教育支援チーム）」では、子育てに関する講演会の開催や個別の子育て相談会、子どもの心の居場所づくりを実施して、親子の悩みを解消するために支援の輪を広げています。

また、東北公益文科大学では、中高の教員を目指す大学生に社会科指導法の講義の中で、子どもの理解の仕方や学習意欲の持たせ方の指導を行っています。



【主な講演内容】

対 象	演 題	開催市町
小中学生保護者	子どもの見方、子ども理解について	酒田市
社会教育関係者	家庭教育支援の現場	三川町

令和6年度 山形県家庭教育支援推進協議会 委員名簿

番号	氏 名	役 職 等	備 考
1	佐藤 宏平	山形大学地域教育文化学部 教授	第3条第1項 (1)
2	林 淑子	林内科・レディースクリニック院長	(1)
3	野口比呂美	NPO法人やまがた育児サークルランド代表	(1)
4	武田 靖裕	山形県PTA連合会 会長	(1)
5	樋渡 美千代	山形県連合小学校長会(山形市立第十小学校)	(1)
6	土屋 常義	県家庭教育アドバイザー(村山地区代表)	(2)
7	阿部 彰	県家庭教育アドバイザー(最上地区代表)	(2)
8	小野 卓也	県家庭教育アドバイザー(置賜地区代表)	(2)
9	齋藤 雅志	県家庭教育アドバイザー(庄内地区代表)	(2)
10	佐藤 征子	県しあわせ子育て応援部子ども成育支援課長	(3)
11	高橋 典子	県教育局義務教育課長	(3)

◇事務局

県教育局生涯教育・学習振興課

	課 長	東海林 靖志(事務局長)
	課長補佐	村上 康広
	社会教育専門員	木村 征子
	社会教育主査	川田 大
	社会教育主査	小野 大輔
	生涯学習主査	秋葉 正任
	社会教育主査	佐藤 陽介
村 山 教 育 事 務 所	社会教育主事	深瀬 明子
最 上 教 育 事 務 所	社会教育主事	高橋 裕美
置 賜 教 育 事 務 所	社会教育主事	岩井 達也
庄 内 教 育 事 務 所	社会教育主事	齋藤 工

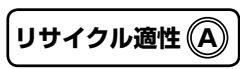
子どもの生活習慣に関する指針活用資料
家庭教育サポートブック
(講座・研修会のヒント集)

令和7年4月発行

山形県教育局 生涯教育・学習振興課

TEL 023-630-2877 FAX 023-630-2874

E-mail yshogaku@pref.yamagata.jp



リサイクル適性

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。